

Reprise

ネットワークライセンス ユーザーガイド

BricsCAD NW 2024

BricsCAD の Reprise 版ネットワークライセンスについてのユーザーガイドです。
ネットワークライセンスで運用する場合、必ずお読みください

Reprise ネットワーク ライセンス ユーザーガイドについて

Reprise ネットワーク ライセンス ユーザーガイド(以降 本書)は Reprise 版の BricsCAD ネットワークライセンスのインストールについて説明するものです。

本書に説明のある設定・インストールを始める前に、Windows やネットワーク環境などが正しく動作することを、あらかじめご確認ください。

本書の画面ダンプは一例です。実際の画面とは異なる場合もあります。

ご注意

本書の内容の全部または一部を無断で記載することを禁止します。

本書の内容に関しては将来予告なしに変更することがあります。

運用した結果の影響につきましては責任を負いかねますのでご了承ください。

目次

Reprise ネットワーク ライセンス ユーザーガイドについて.....	1
目次	i
I. 概要	1
1. Reprise のネットワークライセンスについて	2
1. Reprise のネットワークライセンスの概要	2
2. Reprise のネットワークライセンスの管理について	2
2. 作業内容	3
1. Reprise ライセンスサーバー作業	3
2. クライアントインストーラ作成	3
3. クライアントインストール	3
II. ライセンスサーバー作業	4
1. ライセンスマネージャーの構築	5
1. Bricsys ネットワークライセンスマネージャー (RLM) のインストール	5
2. グレード識別 ID の設定	10
3. ライセンスサービスの再読み込み	11
4. ライセンスマネージャーの管理画面の表示	13
5. Windows ファイアウォールの設定	13
6. オフライン(手動)アクティベートについて	13
III. クライアントインストーラ作成	17
1. クライアントインストーラ作成	18
1. 事前準備	18
2. クライアントインストーラの作成(標準)	18
3. クライアントインストーラの作成(カスタム)	22
2. プロファイル初期設定ファイル	30
1. プロファイル初期設定ファイルについて	30
2. プロファイル初期設定ファイルの作成	30
3. 設定ファイル	32

IV.クライアントインストール	34
1. BricsCAD のインストール.....	35
1. BricsCAD クライアントインストーラ フォルダ構成について.....	35
2. BricsCAD のインストールの実行	36
3. Communicator のインストールの実行	37
V. オプション	39
1. ライセンスモニタ (BricsCAD)	40
1. ライセンス情報の確認.....	40
2. ライセンスの借用と返却 (BricsCAD)	41
1. ライセンス借用	41
2. ライセンス返却	42
VI. 付録	44
1. ツール	45
1. ライセンスログ解析ツール	45
2. ライセンスログ解析ツール 機能拡張版	45
3. ライセンスサーバー設定/グレード書き換えツール	46
2. Reprise オプション構文.....	48
1. オプションファイルキーワード	48
2. 製品ライセンスコード(フィーチャー名)	48
3. 識別	48
4. ライセンスの返却(タイムアウト)	49
5. ライセンス使用の許可.....	49
6. グループの定義記述例	49
7. 最大使用ライセンス数の指定.....	49
8. ライセンス借用の制限と禁止.....	50
3. よくあるお問い合わせ	51

<<このページは白紙です>>

I. 概要

本書の概要を説明します。

1. Reprise のネットワークライセンスについて

Reprise のネットワークライセンスについて説明します。

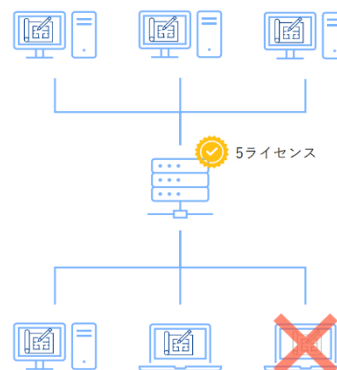
1. Reprise のネットワークライセンスの概要

BricsCAD のネットワークライセンスを使用すると、同じ TCP/IP ネットワーク上の多くのユーザーが BricsCAD ライセンスの共有プールにアクセスしてライセンスを使用できます。

社内のサーバーにインストールする“Bricsys ネットワークライセンスマネージャー”を使用して、BricsCAD のライセンス・プールの配布を制御することで、ライセンス数を抑えた運用を行うことができます。

ネットワークライセンスをご購入いただく場合は、BricsCAD メンテナンス保守契約が初回必須となります。(次年度以降は任意です。)

※図研アルファテックで提供する FlexNet のライセンスサービスとは異なります。ご注意ください



2. Reprise のネットワークライセンスの管理について

Reprise のネットワークライセンスの管理画面では以下のようなことができます。

- 1つのライセンスサーバーで複数のグレードやバージョンのライセンスを管理します。
- ライセンスマネージャーの管理画面から使用数や稼働状況の確認と設定を更新します。
- 最大30日間ネットワークから切り離して使用できるローミング(借用)を設定します。
- ライセンスを使用するユーザーをコントロールします。使用グレードやローミング(借用)の設定も可能です。
- 複数サーバーでライセンスを共有管理する構成が可能です。
- 利用ログの保存が可能です。(外部ツールでレポートデータを可視化できます。)



2. 作業内容

BricsCAD をネットワークライセンスでご使用いただくための作業について説明します。

1. Reprise ライセンスサーバー作業

- 1) Bricsys ネットワークライセンスマネージャ(RLM)のインストール
- 2) ネットワークライセンスのアクティベーション
- 3) サービス起動確認
- 4) Windows ファイアウォールの設定

2. クライアントインストーラ作成

ライセンスサーバーで作成したライセンスファイル(*.lic)、および、BricsCAD、Communicator のインストーラ (msi ファイル)を準備し、クライアントインストーラを作成します。

クライアントインストーラはグレードごとの作成です。

購入したグレードに対するクライアントインストーラを作成してください。

作成は、任意の 1 台の PC で行い、他の PC で参照できる場所にコピーしてください。

3. クライアントインストール

購入ライセンスのグレードのクライアントインストーラを使ってインストールを行います。

クライアントインストールでは BricsCAD、サーバー接続情報(BricsCAD NW)、BricsCAD 用ライセンスモニタ(*)をインストールします。

(*)クライアントインストーラの作成時に含めるかの指定ができます。

II.ライセンスサーバー作業

ライセンスサーバーでの作業として、Bricsys ネットワークライセンスマネージャー (RLM) のインストール、ライセンスキーのアクティベーション、サービス起動確認などを説明しています。

Administrator または管理者権限のあるユーザーでログオンし作業を行ってください。

1. ライセンスマネージャーの構築

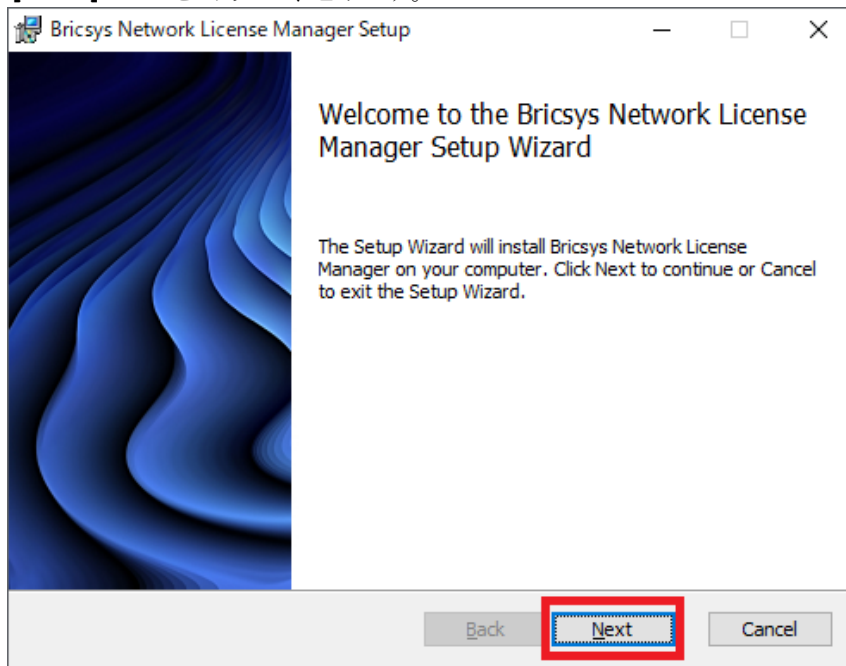
サーバーPC に対して、ライセンスマネージャーの構築作業を行います。
インストール作業を行う前に、使用中のアプリケーションはすべて終了させてください。

1. Bricsys ネットワークライセンスマネージャー (RLM) のインストール

- 1) Administrator または管理者権限のあるユーザーでログオンしてください。
- 2) Bricsys ネットワークライセンスマネージャーの Windows 版(Bricsys-NetworkLicenseManager.msi)をダウンロードします。
下記の URL をブラウザで開き、関係インストーラー式を含んだ **NWRLM_Package.zip** をダウンロードしてください。

<https://www.bj-soft.jp/support/install/BricsCADreprise.html>

- 3) NWRLM_Package.zip を任意の場所で展開してください。
- 4) NWRLM_Package¥の中の **Bricsys-NetworkLicenseManager.msi** をダブルクリックして起動します。
- 5) 「Bricsys Network License Manager Setup」のインストーラーが起動します。
[Next] ボタンをクリックし、進みます。

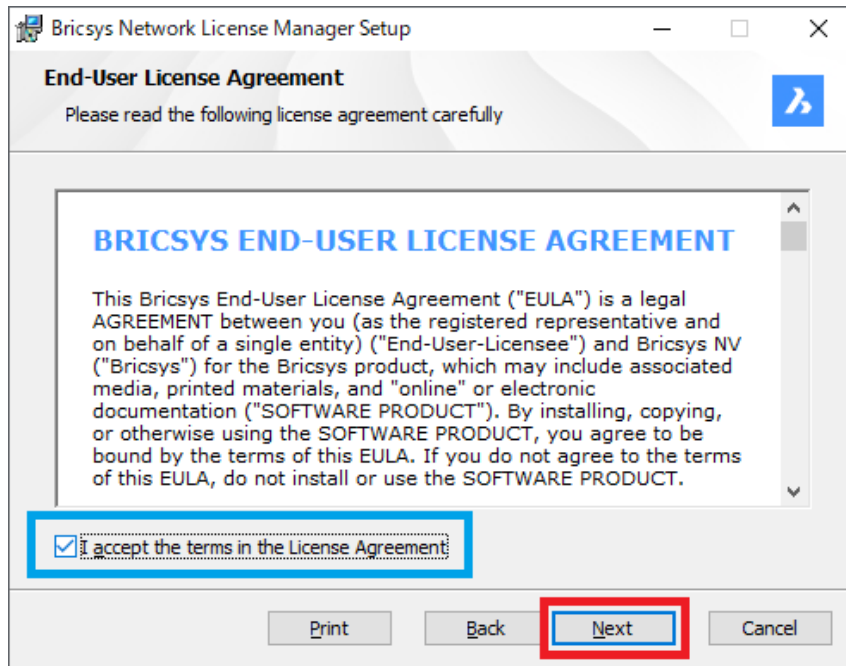
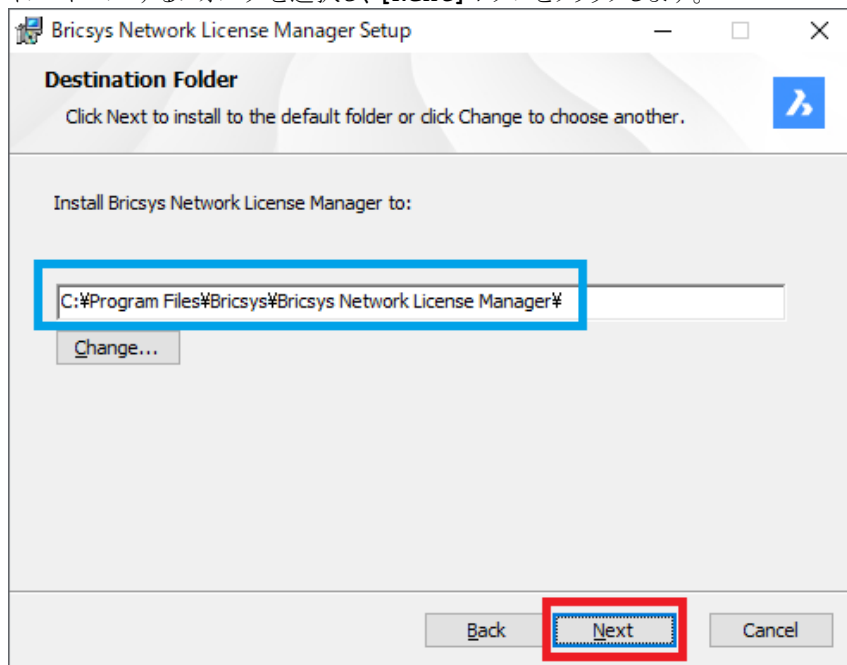


6) 使用許諾契約の確認

本ソフトをご使用いただくためには、ソフトウェア使用許諾契約のすべての条項に同意していただく必要があります。

注意深くお読みいただいた上、すべての条項に同意いただける場合は

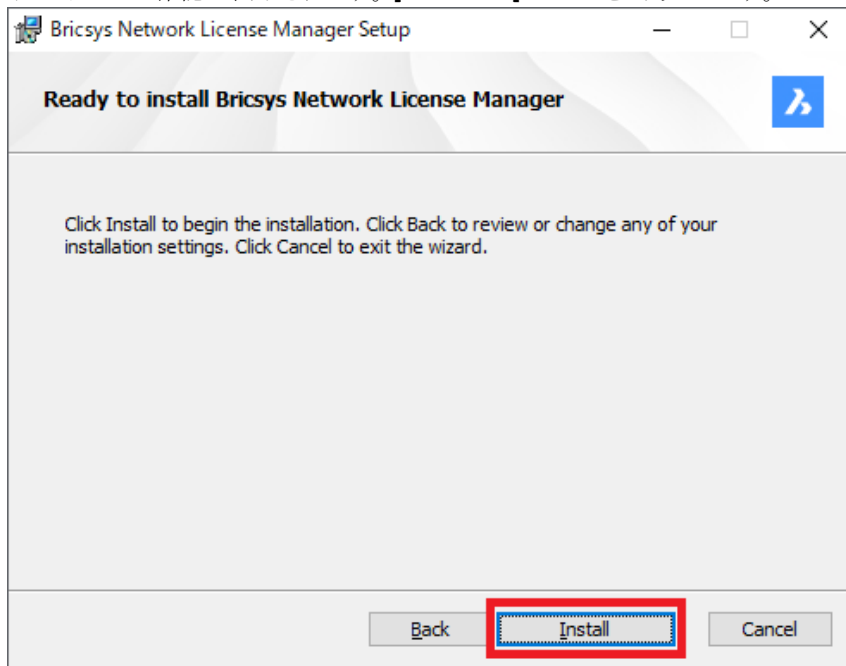
[I accept the terms in the License Agreement]を選択し、**[Next]**ボタンをクリックします。

7) インストールするフォルダを選択し、**[Next]**ボタンをクリックします。

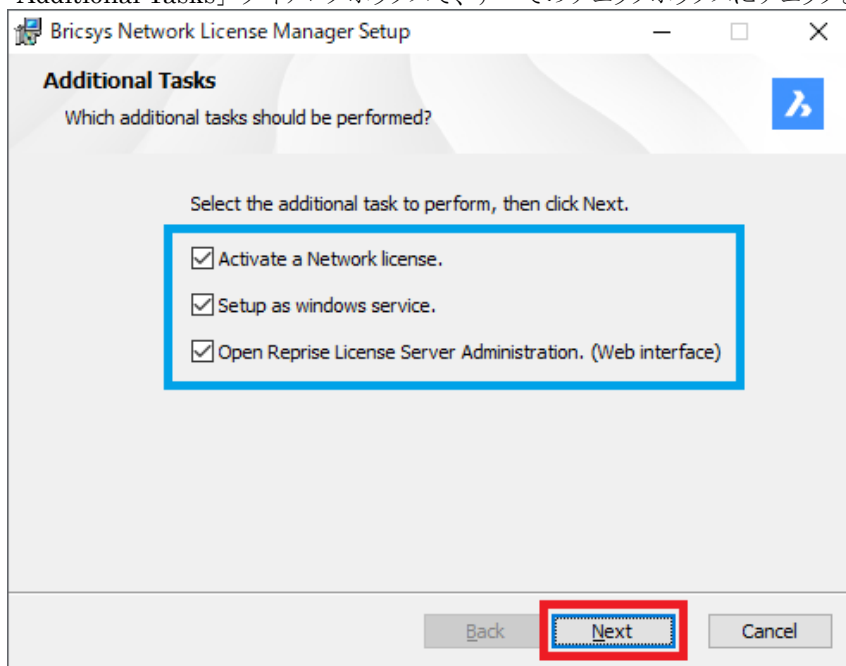
※下記デフォルトフォルダ へのインストールを推奨します。

C:\Program Files\Bricsys\Bricsys Network License Manager

- 8) インストールの確認が表示されます。[Install] ボタンをクリックします。



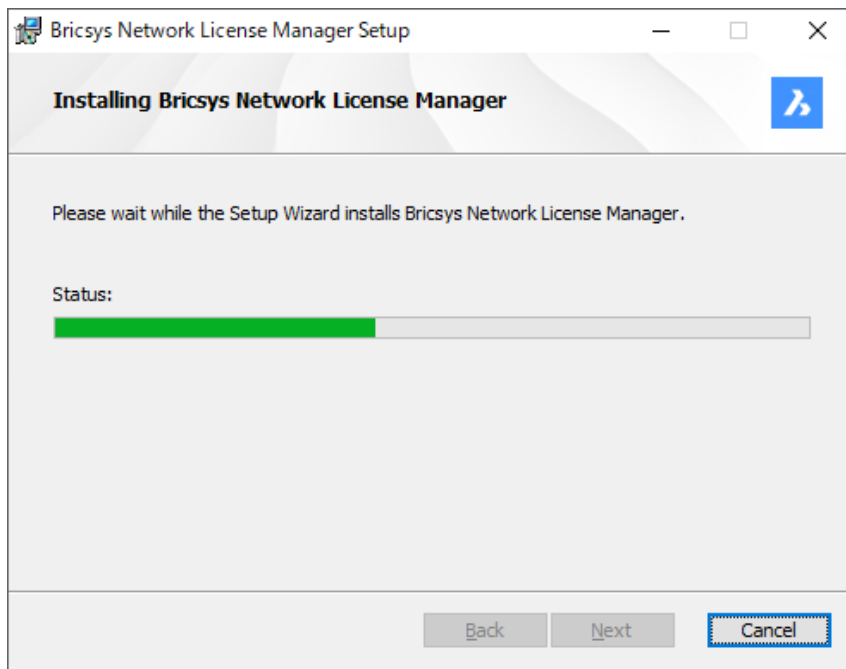
- 9) 「Additional Tasks」ダイアログボックスで、すべてのチェックボックスにチェックを入れます。



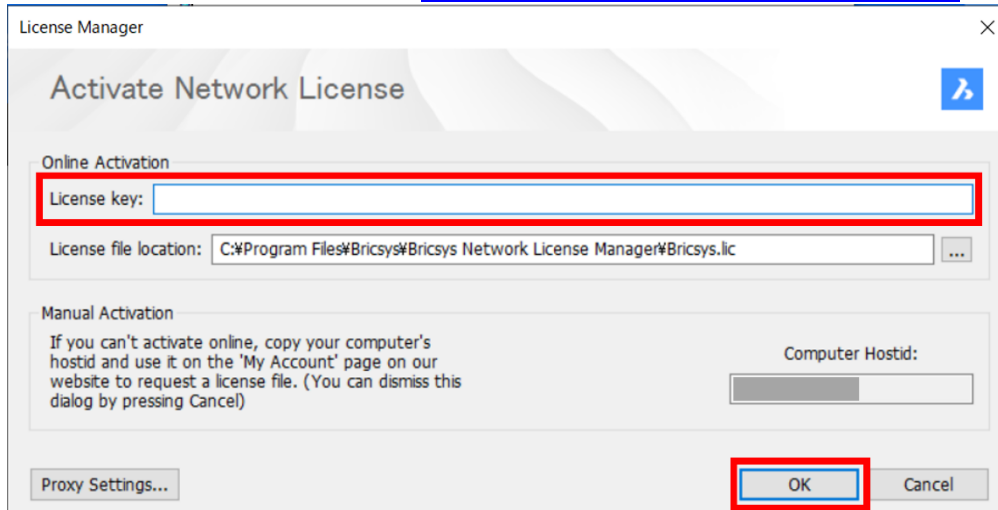
- **Activate a Network license.(ネットワークライセンスのアクティベート)**
インストール後、Bricsys ネットワークライセンスマネージャーが開き、ネットワークライセンスのアクティベートを求めます。
Bricsys ネットワークライセンスマネージャーは、後で開くこともできます。
([Windows スタート]メニューの[Bricsys]-[License Activation] をクリック)
- **Setup as windows service.(Windows のサービスとしてセットアップ)**
Windows を起動するたびに、ライセンスサーバーのサービスとして自動的に起動します。
後から行う場合、コマンドプロンプトを管理者として実行し、次のコマンドを実行します。
`rlm.exe-dlog rlm.log-install_service`
- **Open Reprise License Server Administration.(リプライズ ライセンスサーバー管理を開く)**
インストール後、リプライズのライセンスサーバー管理のウェブインターフェースを表示します。
このウェブインターフェースで、ネットワークライセンスを管理できます。

[Windows スタート]メニューの[Bricsys]-[License Server Administration]をクリックして、Reprise ライセンスサーバー管理を開くこともできます。

- 10) [Next] ボタンをクリックすると、インストールが始まります。



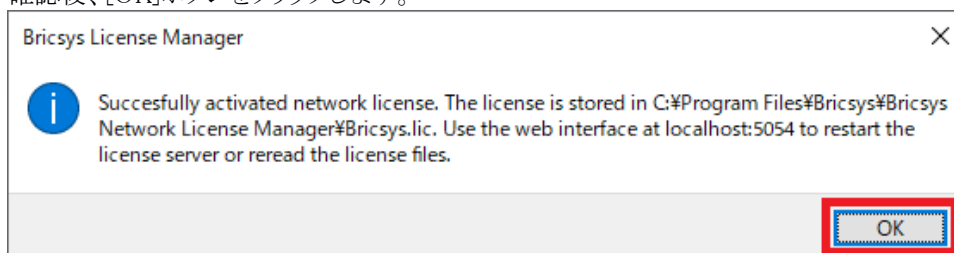
- 11) 「Activate Network License」ダイアログボックスで、ネットワークライセンスキーを記入してアクティベートを行います。※オフライン環境の場合⇒[p.13 「6. オフライン\(手動\)アクティベートについて」](#)



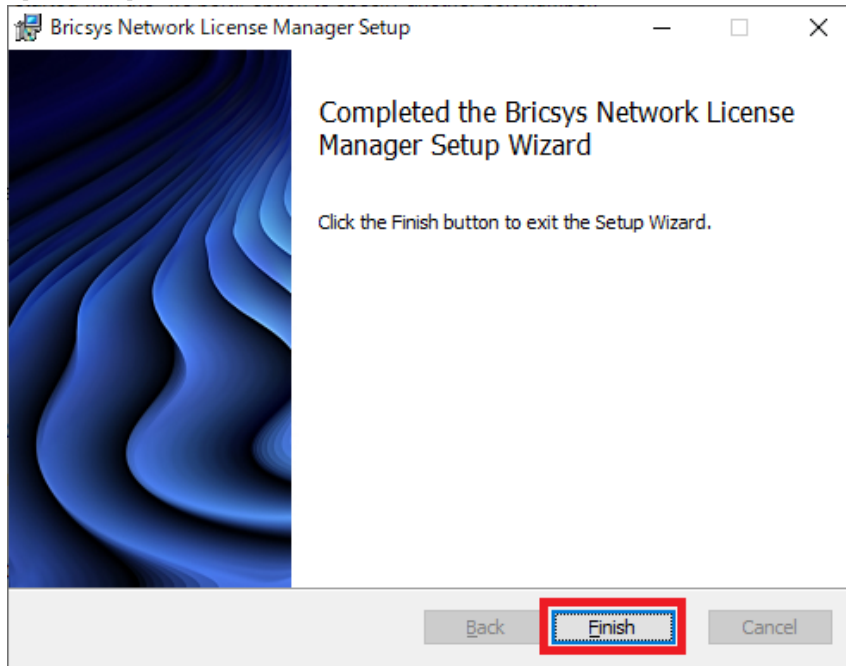
[License Key] の欄にネットワークライセンスキーを入力し、[OK]ボタンをクリックします

- 12) アクティベートに成功すると、下記メッセージを表示します。

確認後、[OK]ボタンをクリックします。



- 13) **[Finish]** ボタンをクリックし、インストーラを終了します。

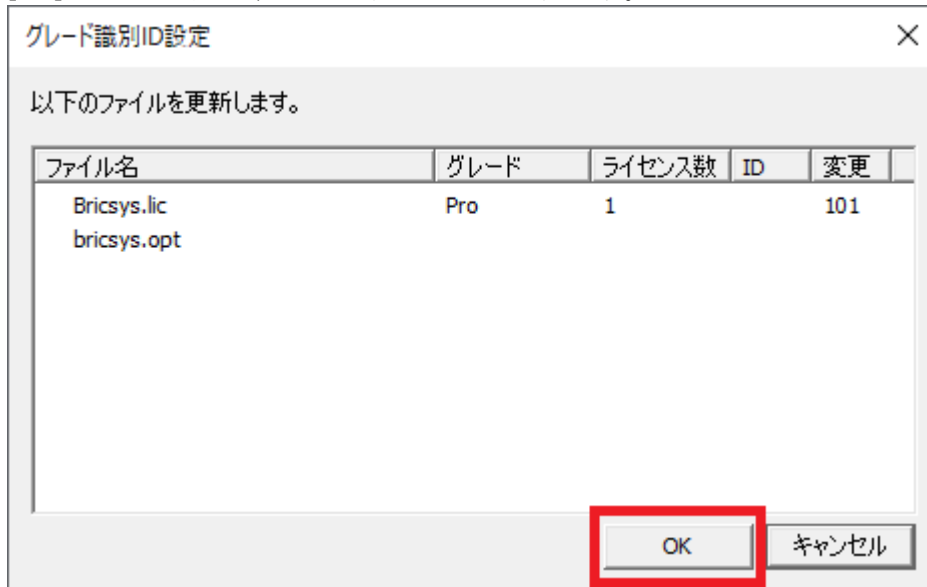


- 14) インストールの完了後、Reprise ライセンスサーバー管理をウェブサイトインターフェースが起動します。あとで、ライセンスサービスの再起動を行いますので、閉じずに残しておいてください。

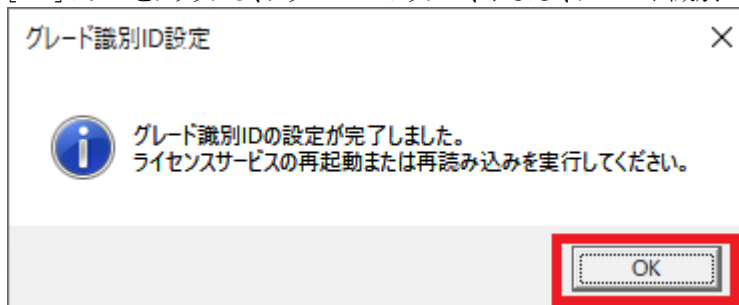


2. グレード識別 ID の設定

- 1) 続けてグレード識別 ID の設定を行います。
- 2) NWRLM_Package¥BricsCADNWRLM_1041¥MISC¥ID_SettingTool¥ を開きます。
- 3) BricsCADNWKeep.exe をダブルクリックします。
- 4) グレード識別 ID 設定ダイアログを起動します。
[OK]ボタンをクリックし、グレード識別の ID を登録します。



- 5) ライセンスサービスの再起動を促すメッセージを表示します。
[OK]ボタンをクリックし、メッセージボックス、および、グレード識別 ID 設定ダイアログを閉じます。



[補足]

本ツール実行後、ライセンスファイルの各ライセンス行に id が追加されます。

```
HOST [redacted] 5053
ISV bricsys
LICENSE bricsys bricscad [redacted] 50 share=uh max_roam_count=50
contract=[redacted] options="LA:xx_XX TY:NFR LE:PLA
EF:B EF:M" id=401 _ck=790af23400 sig="60P0451ET5A5C4ACMD2D63HW9W5PSTDDEMA
7SW022HMACD9M11BGS8X72D29NEXWXCJKMA8YR"
```

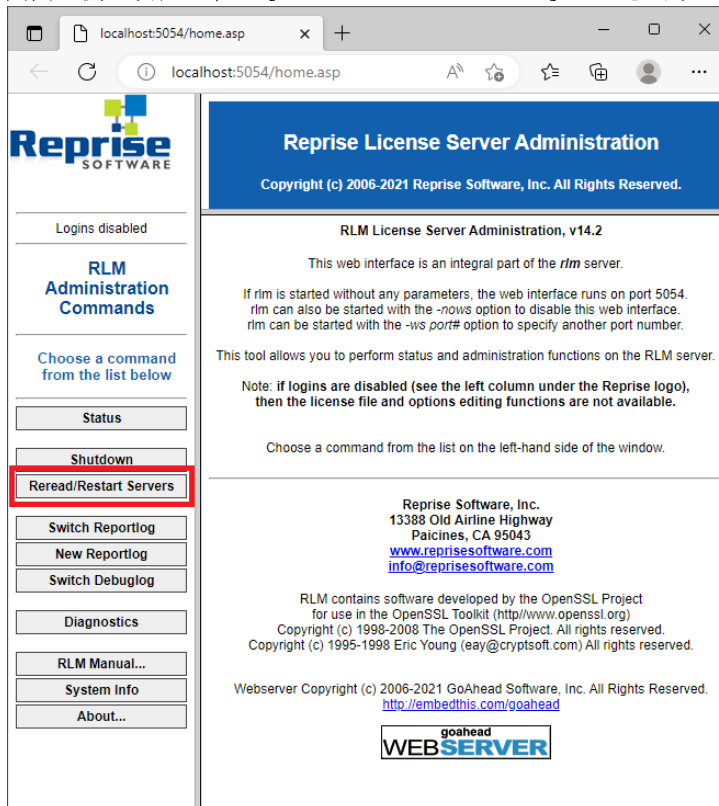
オプションファイルには、各 id について INCLUDE オプションが設定されます。

```
HOST [redacted] 5053
ISV bricsys
LICENSE bricsys bricscad [redacted] 50 share=uh max_roam_count=50
contract=[redacted] options="LA:xx_XX TY:NFR LE:PLA
EF:B EF:M" id=401 _ck=790af23400 sig="60P0451ET5A5C4ACMD2D63HW9W5PSTDDEMA
7SW022HMACD9M11BGS8X72D29NEXWXCJKMA8YR"
```

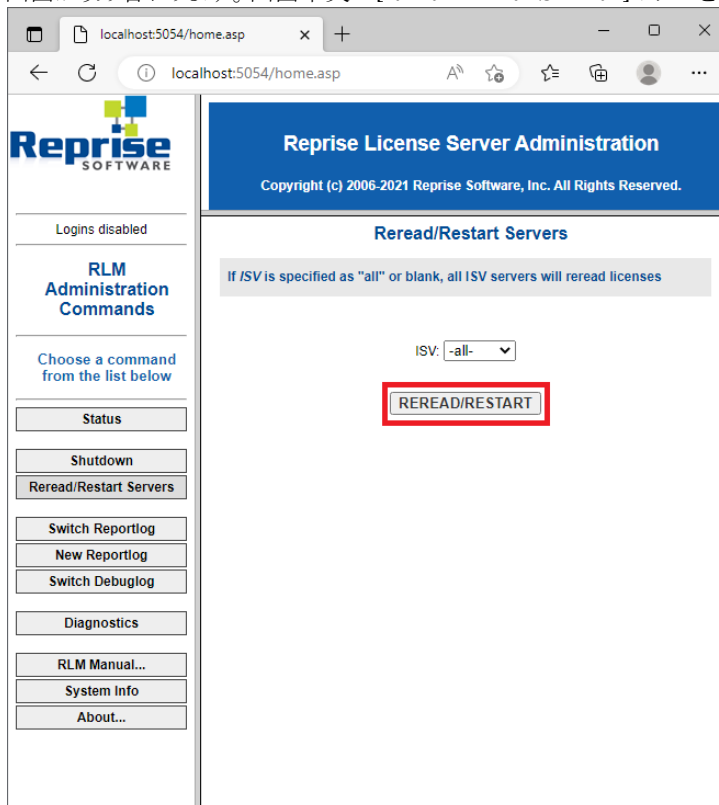
※オプションファイルの編集時などに、これらの記述を誤って削除されないようご注意ください。
クライアントからのライセンス取得が行えなくなる可能性があります。

3. ライセンスサービスの再読み込み

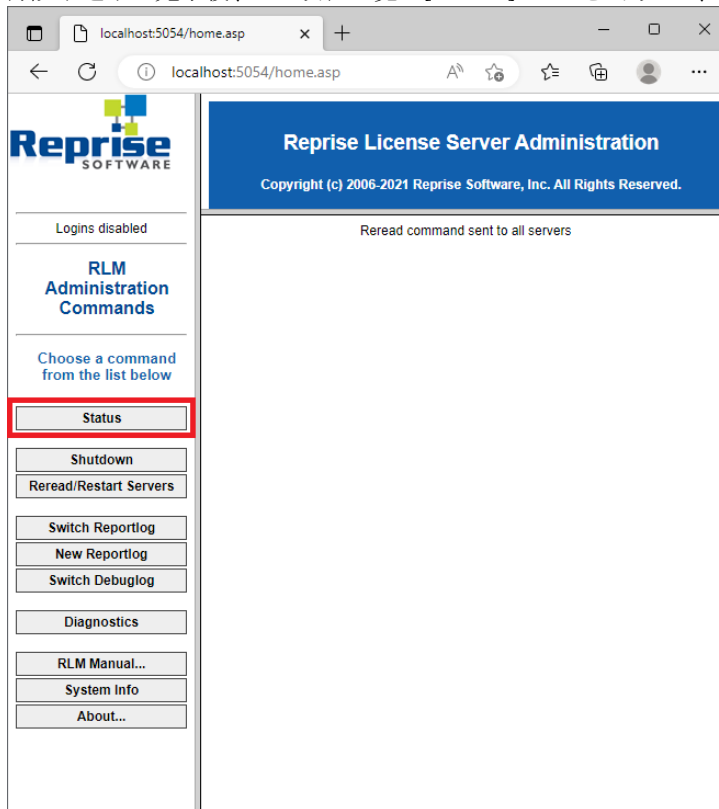
- 1) 「Bricsys ネットワークライセンスマネージャー (RLM) のインストール」で起動した管理画面を使います。
- 2) 画面左側の項目の中の [Reread/Restart Servers] ボタンをクリックします。



- 3) 画面が切り替わります。画面中央の[REREAD/RESTART]ボタンをクリックします。



- 4) 再読み込みの完了後、左の項目一覧の[Status]ボタンをクリックし、メイン画面に戻ります。



- 5) 再読み込みの完了後、左の項目一覧の[Status]ボタンをクリックし、メイン画面に戻ります。

Status for "rlm" on Server2022 (port 5053)

RLM software version	v14.2 (build:5)
RLM comm version	v1.2
debug log file	rlm.log
license files	C:\ProgramData\Reprise\reprise Bricsys.lic

rlm Statistics	Since Start	Since Midnight	Recent
Start time	11/11 15:06:48	11/11 15:06:49	11/11 16:07:48
Messages	2 (0/sec)	2 (0/sec)	2 (0/sec)
Connections	1 (0/sec)	1 (0/sec)	1 (0/sec)

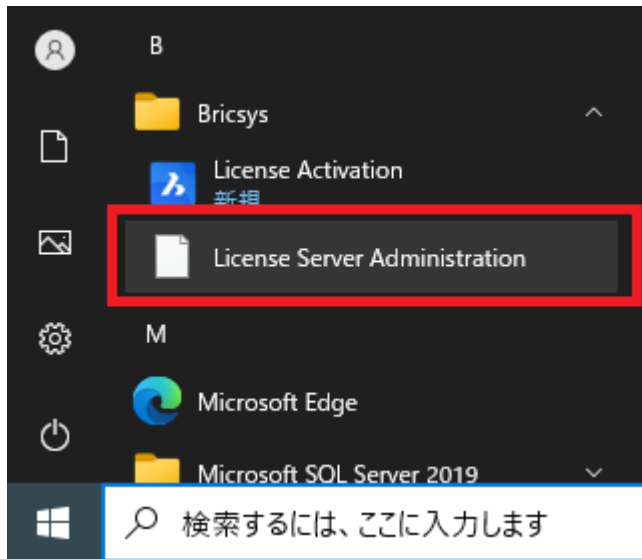
[SHOW rlm Debug Log](#)

ISV Servers		Name	port	Running	Restarts	Server Status	License Usage	Debug Log	REREAD	TRANSFER	SHUTDOWN
		bricsys	49973	Yes	0	bricsys	bricsys	bricsys	bricsys	bricsys	bricsys

これで、ライセンスマネージャーの基本的な構築作業は完了です。
必要に応じて、ライセンスマネージャーで使っているポート番号に対して、ファイアウォールの除外設定を行ってください。

4. ライセンスマネージャーの管理画面の表示

スタートボタンから [Bricsys]-[License Server Administration] をクリックすることで、ウェブページによる管理画面を表示することができます。



5. Windows ファイアウォールの設定

「Bricsys ネットワークライセンスマネージャー」を「Windows ファイアウォール」に対して通信の許可を与えておく必要があります。

- 1) [コントロールパネル] から [システムとセキュリティ]-[Windows Defender ファイアウォール] を選択し「詳細設定」を開きます。
- 2) [受信の規則]を選択し、[新しい規則]をクリックします。
- 3) 「規則の種類」より「プログラム」を選択し [次へ]ボタンをクリックします。
- 4) 「このプログラムのパス」を選択し、[参照]ボタンをクリックします。
- 5) ファイルの選択画面から、「Bricsys ネットワークライセンスマネージャー」のインストール先にある "rlm.exe" を選択します。
初期値:C:\Program Files\Bricsys\Bricsys Network License Manager\
- 6) 「このプログラムのパス」の欄に入力後、[次へ]ボタンをクリックします。
- 7) 「接続を許可する」を選択し、[次へ]ボタンをクリックします。
- 8) 許可するプロファイルにチェックを付け[次へ]ボタンをクリックします。
制限をする必要が無い場合、すべてチェックオンにする。
- 9) 名前の欄に理解できる任意の名前を入力(入力例:rlm.exe)し、[完了]ボタンをクリックします。

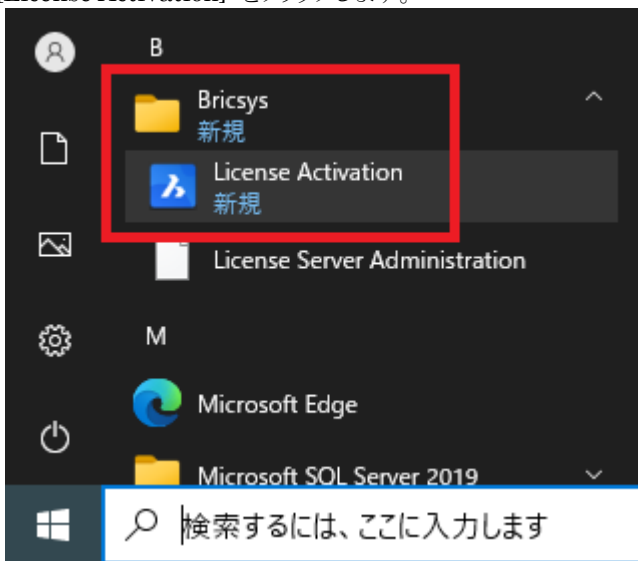
6. オフライン(手動)アクティベートについて

通常、「Bricsys ネットワークライセンスマネージャー」のインストール後、「License Manager」の画面でライセンスキーを入力し、オンラインアクティベートを行います。

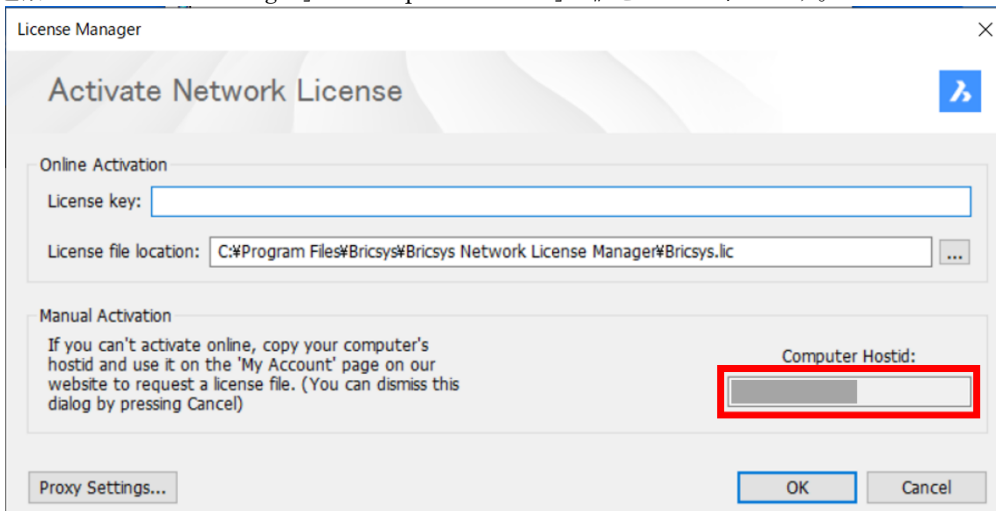
オンラインアクティベートが出来ない場合、オフライン(手動)アクティベートでライセンスファイルを取得し、ライセンスサーバーに登録することで、ネットワークライセンスによる運用を行うことができます。

操作手順は以下です。

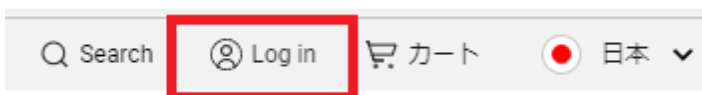
- 1) 「Bricsys ネットワークライセンスマネージャー」をインストールした PC のスタートボタンより、[Bricsys]-[License Activation] をクリックします。



- 2) 起動した「License Manager」の「Computer Hostid」の値をコピーし控えます。



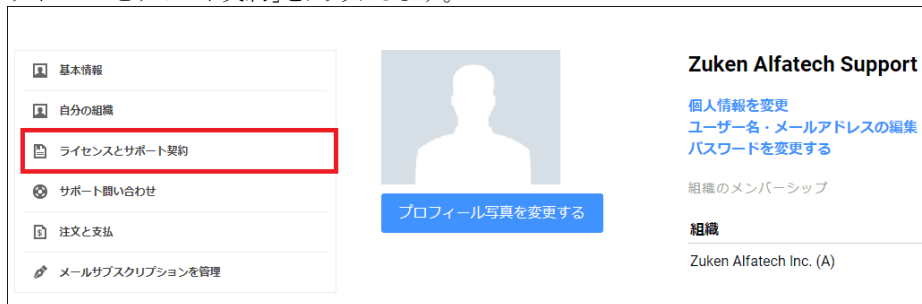
- 3) インターネットに接続できる PC で [Bricsys のホームページ](#) を開きます。
- 4) ホームページ右上の「Log in」からログインします。
※ 登録者のメールアドレスでログインしてください。



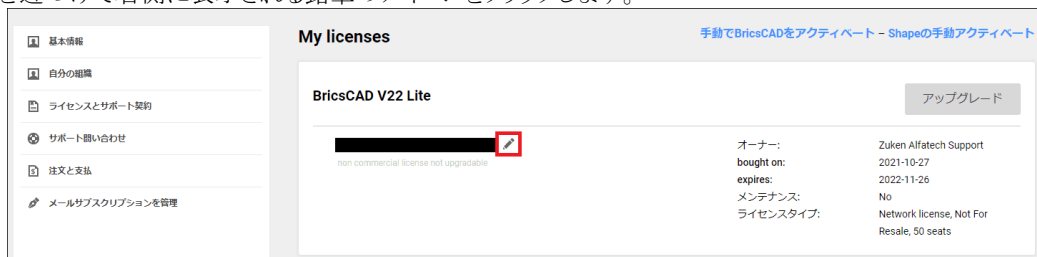
5) Web 画面の「登録情報」をクリックします。



6) 「ライセンスとサポート契約」をクリックします。



7) あなたの Bricsys ライセンス画面のライセンス一覧から、手動アクティベートするライセンスキーにカーソルを近づけて右側に表示される鉛筆のアイコンをクリックします。



8) ライセンス詳細画面の、「手動でアクティベート」をクリックします。



- 9) "2."の手順でコピーした [Computer Hostid] を「Host ID」欄に貼り付けます。

The screenshot shows the '手動でアクティベート' (Manual Activation) page for BricCAD V22 Lite. On the left is a navigation menu with options like '基本情報', '自分の組織', 'ライセンスとサポート契約', etc. The main content area displays license details for 'BricsCAD V22 Lite - すべての言語'. Below this, there is a 'Host ID' input field with a red border and an 'アクティベート' (Activate) button. A yellow warning box at the bottom states: '手動アクティベートはお客様のPCがインターネットに接続が出来ない時、あるいはBricsCADでアクティベーションエラー（失敗）の時のみにご使用ください。' (Manual activation is only for use when your PC cannot connect to the internet or when you encounter an activation error in BricsCAD.)

- 10) [アクティベート]をクリックします。手動アクティベート画面に移行します。

- 11) [ダウンロードライセンスファイル]をクリックします。

This screenshot shows the '手動でアクティベート' (Manual Activation) page after a successful activation. The text reads: 'アクティベーション成功' (Activation Successful). Below, it says: '御使用になりたいPCにライセンスファイルのダウンロードを行います。BricsCADにおいてマニュアルアクティベーションのダイアログ*がXについてブラウザボタンをクリックしてください。ライセンスファイルをどこかのフォルダに保存するかダイアログが出ます。' (We will download the license file to the PC you want to use. In BricsCAD, click the browser button in the manual activation dialog* for X. A dialog will appear asking where to save the license file.) The 'ダウンロードライセンスファイル' (Download License File) button is highlighted with a red box.

- 12) ライセンスファイルをサーバーの Bricsys ネットワークライセンス管理インストールフォルダにコピーします。

(既定フォルダー) C:\Program Files\Bricsys\Bricsys Network License Manager\

- 13) [License Server Administration] から [REREAD/RESTART] を実行します。

The screenshot shows the 'Reprise License Server Administration' web interface in a browser window. The page title is 'Reread/Restart Servers'. Below the title, it says: 'If /SV is specified as "all" or blank, all /SV servers will reread licenses'. There is a dropdown menu for 'ISV' set to '-all-'. The 'REREAD/RESTART' button is highlighted with a red box. The left sidebar contains various administration commands like 'Status', 'Shutdown', 'Switch Reportlog', etc.

- 14) これでオフライン(手動)アクティベートは完了です。
引き続き、「2
グレード識別 ID の設定」からの作業を行ってください。

III. クライアントインストーラ作成

クライアント PC にサーバー接続情報(BricscadNW)を持つ BricsCAD をインストールするためのインストーラの作成方法について説明します。

クライアントインストーラは、グレードごとの作成になります。

1. クライアントインストーラ作成

クライアントインストーラについて説明します。

1. 事前準備

- 1) ライセンスファイル
ライセンスサーバーでのアクティベート時に作成されたライセンスファイル(*.lic)をクライアント、または参照できる共有フォルダにコピーしてください。
- 2) BricsCAD インストーラ
クライアントインストーラに含める BricsCAD インストーラをクライアント、または参照できる共有フォルダにコピーしてください。
Communicator のライセンスもお持ちの場合は、Communicator のインストーラもコピーしてください。
BricsCAD インストーラ名(日本語版):
BricsCAD-V2*.*.**-ja_JP(x64).msi
Communicator インストーラ名:
BricsCAD-Communicator-V2*.*.**-(x64).msi
必ず、BricsCAD と同一バージョン(マイナーバージョンの値まで同じ)を準備してください。

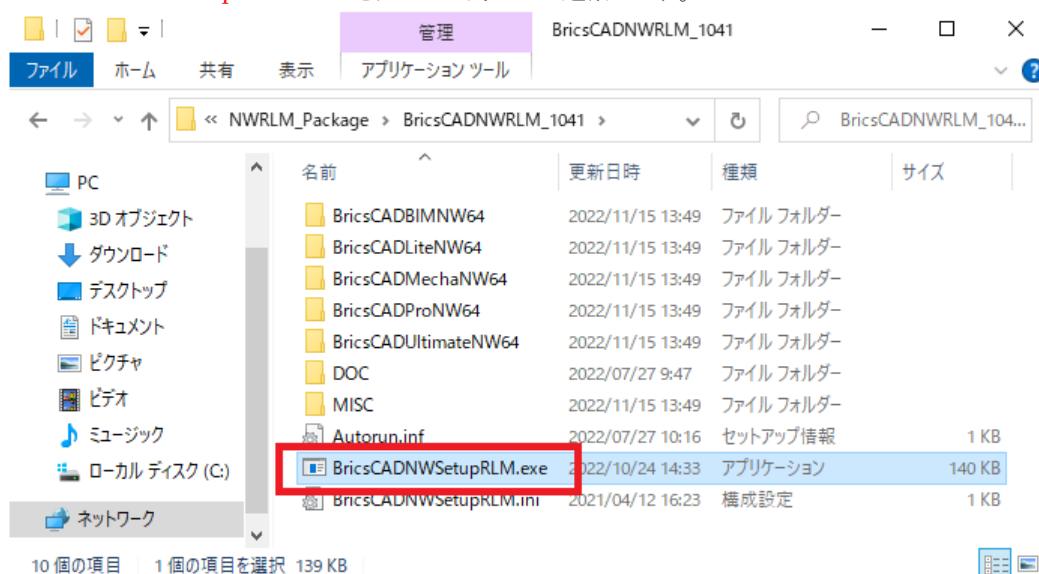
2. クライアントインストーラの作成(標準)

- 1) Administrator または管理者権限のあるユーザーでログオンしてください。
- 2) ライセンスサーバー作業でダウンロードした NWRLM_Package.zip の中にクライアントインストーラの作成用インストーラが含まれています。
サーバーの共有フォルダにコピーしている場合、そのフォルダを開きます。

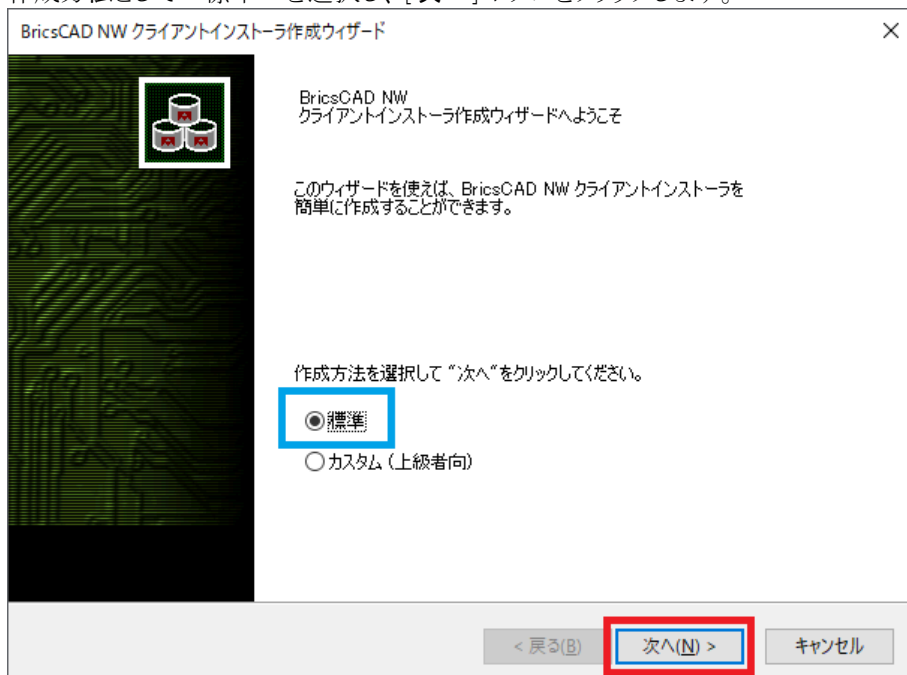
または、NWRLM_Package.zip を任意の場所にコピーし、展開したのち、
NWRLM_Package¥BricsCADNWRLM_1041¥ を開きます。

NWRLM_Package.zip のダウンロードページ:
<https://www.bj-soft.jp/support/install/BricsCADreprise.html>

- 3) BricsCADNWSetupRLM.exe をダブルクリックして起動します。



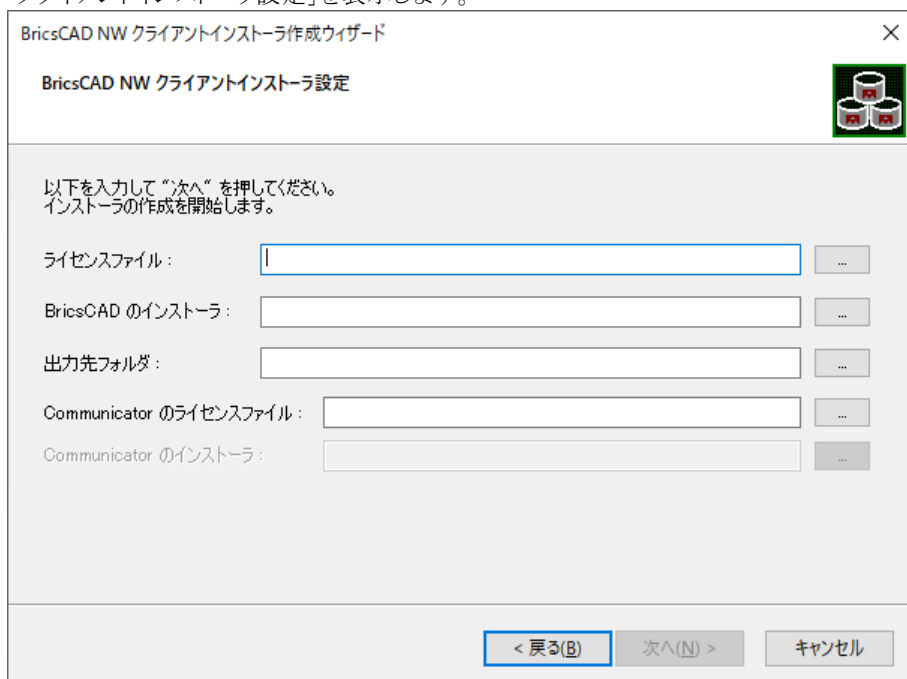
- 4) 「BricsCAD NW クライアントインストーラ作成ウィザード」が起動します。
作成方法として「標準」を選択し、「次へ」ボタンをクリックします。



[標準]: 通常の場合選択します。

[カスタム(上級者向)]: 複数のグレードのインストーラの作成、過去のバージョンでカスタマイズしたファイルを引き継ぎたい場合に選択します。

- 5) 「クライアントインストーラ設定」を表示します。



- 6) ライセンスファイルを入力します。
[...]ボタンから、ライセンスサーバーで作成されたライセンスファイルを指示します。

BricsCAD NW クライアントインストーラ作成ウィザード

BricsCAD NW クライアントインストーラ設定

以下を入力して“次へ”を押してください。
インストーラの作成を開始します。

ライセンスファイル: %%SERVER%share%BricsCAD%Lic%Bricsys.lic

BricsCAD のインストーラ: ...

出力先フォルダ: ...

Communicator のライセンスファイル: ...

Communicator のインストーラ: ...

< 戻る(B) 次へ(N) > キャンセル

- 7) BricsCAD のインストーラファイルを入力します。
[...]ボタンから、BricsCAD のインストーラを指示します

BricsCAD NW クライアントインストーラ作成ウィザード

BricsCAD NW クライアントインストーラ設定

以下を入力して“次へ”を押してください。
インストーラの作成を開始します。

ライセンスファイル: %%SERVER%share%BricsCAD%Lic%Bricsys.lic

BricsCAD のインストーラ: %%SERVER%share%Bricscad%Installer%BricsCAD-V24.1.04-ja_JP(x64)

出力先フォルダ: ...

Communicator のライセンスファイル: ...

Communicator のインストーラ: ...

< 戻る(B) 次へ(N) > キャンセル

- 8) クライアントインストーラの作成先を入力します。
 [...]ボタンから、クライアントインストーラの作成先を指示します

- 9) ここまでの入力で、[次へ]ボタンを押すことができます。
 Communicator のクライアントインストーラが不要な場合は、[次へ]ボタンをクリックし、インストーラの作成を開始します。
 Communicator のクライアントインストーラの作成が必要な場合、同じようにライセンスファイル、インストーラを入力してください。
 指定のライセンスファイルに記載のグレードのクライアントインストーラの作成を開始します。

(ご注意)

手動アクティベートで作成されたライセンスファイルを指定した場合、下記のエラーメッセージを表示します。

[OK]ボタンでサーバー名の入力画面を表示します。

サーバー名、またはライセンスサーバーの IP アドレスの入力後、[OK]ボタンでクライアントインストーラの作成を開始します。

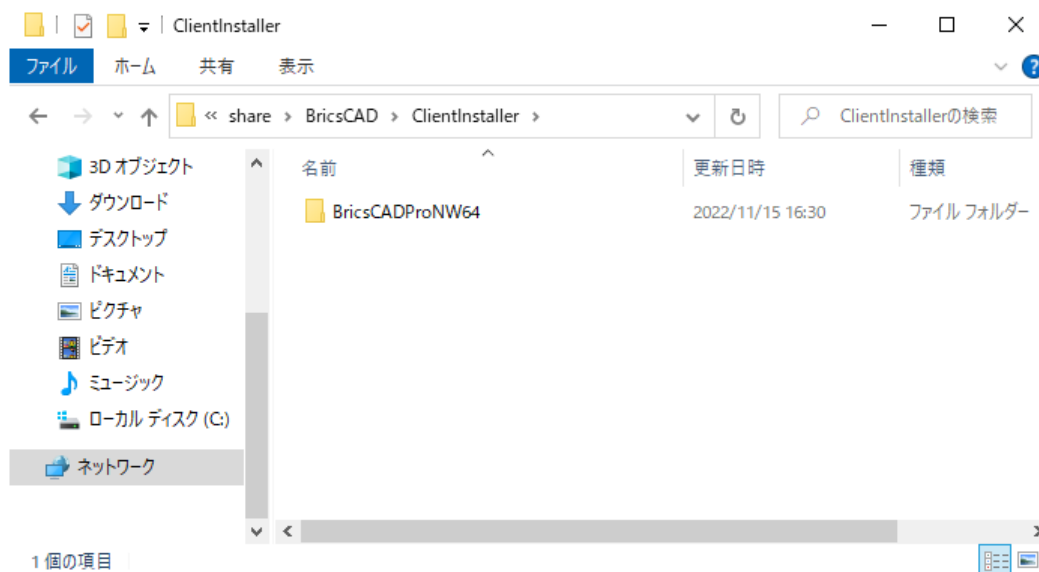
入力したサーバー情報で作成しますので、必ず、正しい値を入力してください。

10) クライアントインストーラの作成後、完了画面を表示します。

[完了]ボタンで「BricsCAD NW クライアントインストーラ作成ウィザード」を終了します。



11) 出力先フォルダに、グレード単位のクライアントインストーラの作成を確認してください。



3. クライアントインストーラの作成(カスタム)

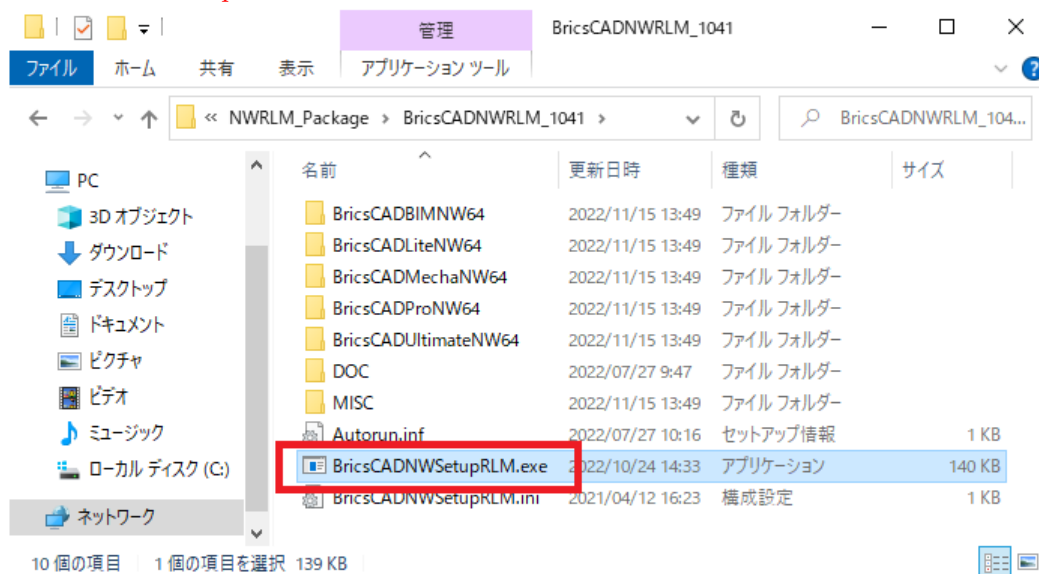
- 1) Administrator または管理者権限のあるユーザーでログオンしてください。
- 2) ライセンスサーバー作業でダウンロードした NWRLM_Package.zip の中にクライアントインストーラの作成用インストーラが含まれています。
サーバーの共有フォルダにコピーしている場合、そのフォルダを開きます。

または、NWRLM_Package.zip を任意の場所にコピーし、展開したのち、
NWRLM_Package¥BricsCADNWRLM_1041¥ を開きます。

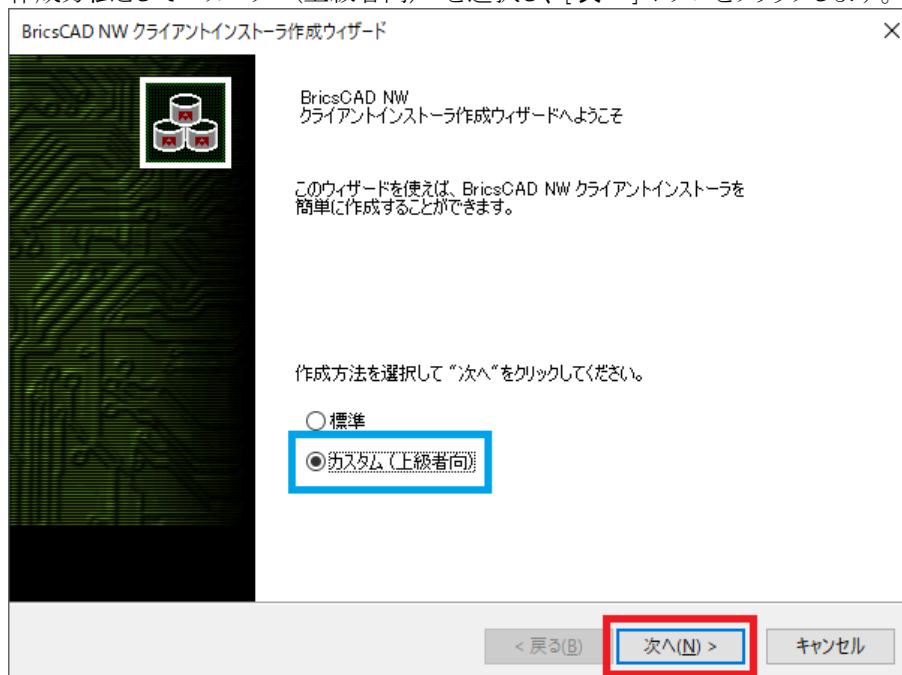
NWRLM_Package.zip のダウンロードページ:

<https://www.bj-soft.jp/support/install/BricsCADreprise.html>

- 3) **BricsCADNWSetupRLM.exe** をダブルクリックして起動します。



- 4) 「BricsCAD NW クライアントインストーラ作成ウィザード」が起動します。
作成方法として ”カスタム(上級者向)” を選択し、[次へ] ボタンをクリックします。



[標準]: 通常の場合選択します。

[カスタム(上級者向)]: 複数のグレードのインストーラの作成、過去のバージョンでカスタマイズしたファイルを引き継ぎたい場合に選択します。

- 5) 「ライセンスサーバー設定」を表示します。

BricsCAD NW クライアントインストーラ作成ウィザード

ライセンスサーバー設定

クライアントが参照するライセンスサーバーを設定してください。
複数のサーバーがある場合、一覧の上から順に参照します。

サーバー一覧(L):

詳細:

サーバー名	ポート番号
-------	-------

設定文字列:

ライセンスモニタをインストールする(M)

< 戻る(B) 次へ(N) > キャンセル

- 6) ライセンスサーバーを設定します。
[追加]ボタンからライセンスファイル(*.lic)を指示し、ライセンスファイルに記載のライセンスサーバー情報を取得します。

BricsCAD NW クライアントインストーラ作成ウィザード

ライセンスサーバー設定

クライアントが参照するライセンスサーバーを設定してください。
複数のサーバーがある場合、一覧の上から順に参照します。

サーバー一覧(L):

詳細:

サーバー名	ポート番号
Server	5053

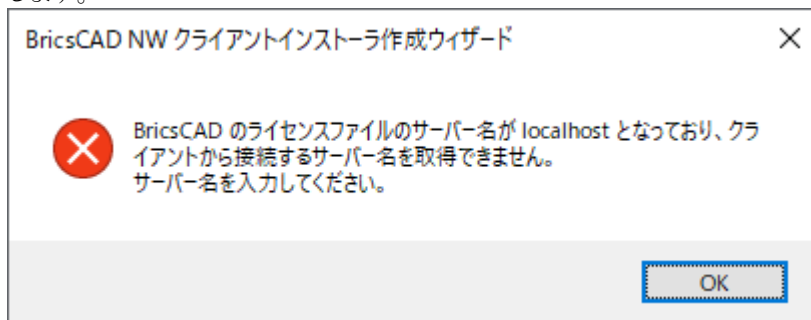
設定文字列: 5053@Server

ライセンスモニタをインストールする(M)

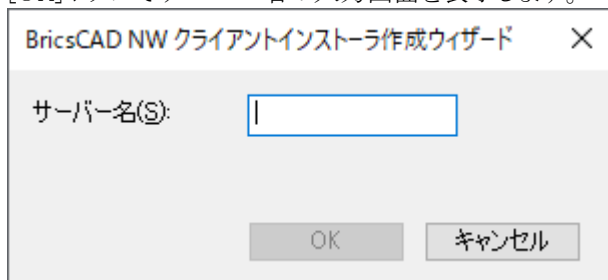
< 戻る(B) 次へ(N) > キャンセル

(ご注意)

手動アクティベートで作成されたライセンスファイルを指定した場合、下記のエラーメッセージを表示します。

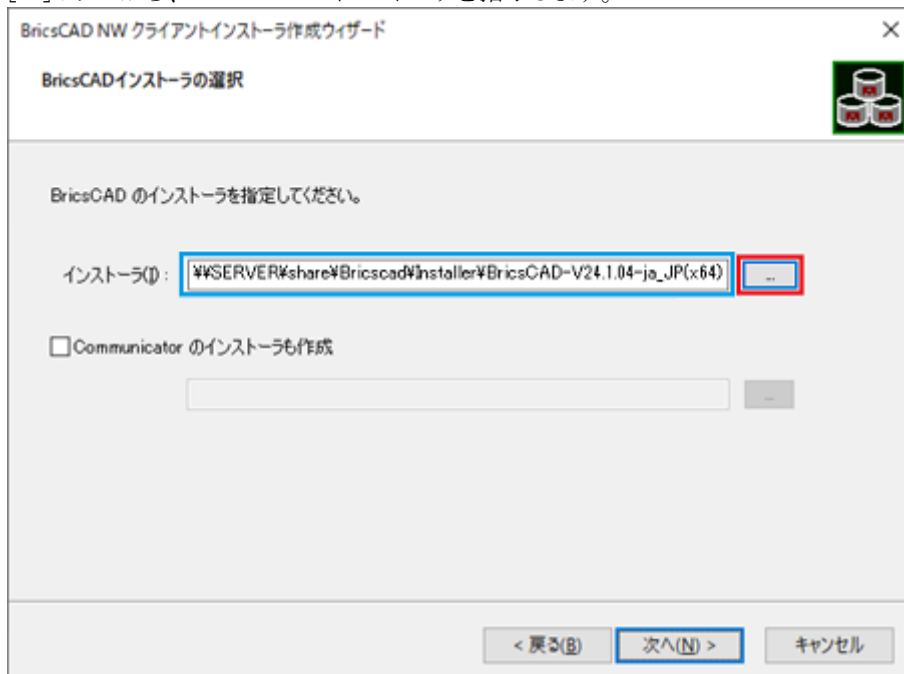


[OK]ボタンでサーバー名を入力画面を表示します。



サーバー名、またはライセンスサーバーの IP アドレスの入力後、[OK]ボタンをクリックします。入力したサーバー情報でライセンスサーバー設定を行います。

- 7) 「ライセンスモニタをインストールする」のチェックボックスを確認し、必要に応じて変更してください。[次へ]ボタンをクリックします。
- 8) 「BricsCAD インストーラの選択」を表示します。
[...]ボタンから、BricsCAD のインストーラを指示します。

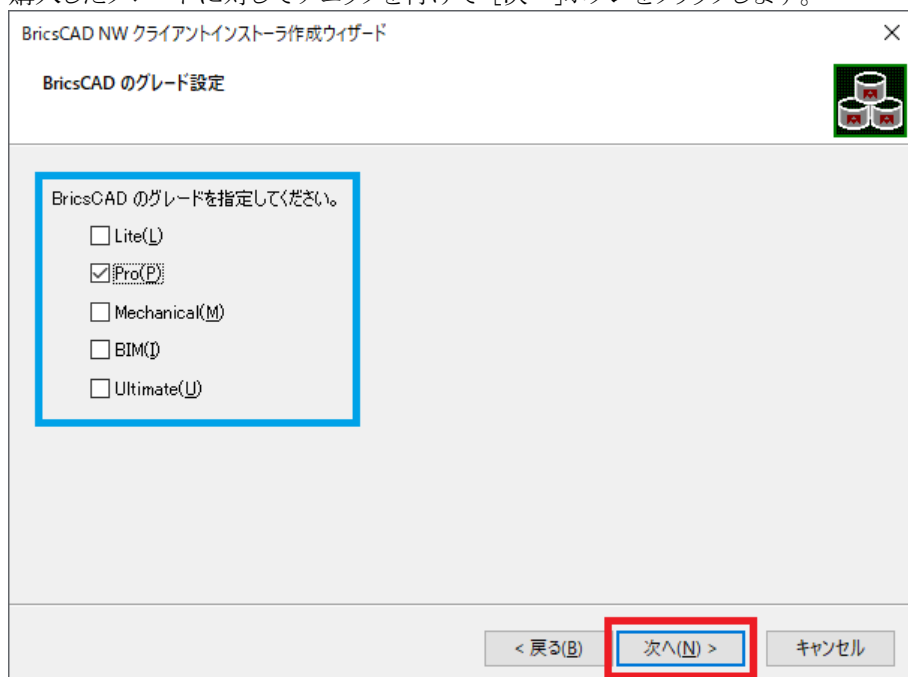


Communicator のクライアントインストーラも作成する場合、「Communicator のインストーラも作成」のチェックボックスをオンにし、同様に [...]ボタンから Communicator のインストーラを指示します。

- 9) [次へ]ボタンをクリックします。

10)「BricsCAD のグレード設定」を表示します。

購入したグレードに対してチェックを付けて [次へ] ボタンをクリックします。



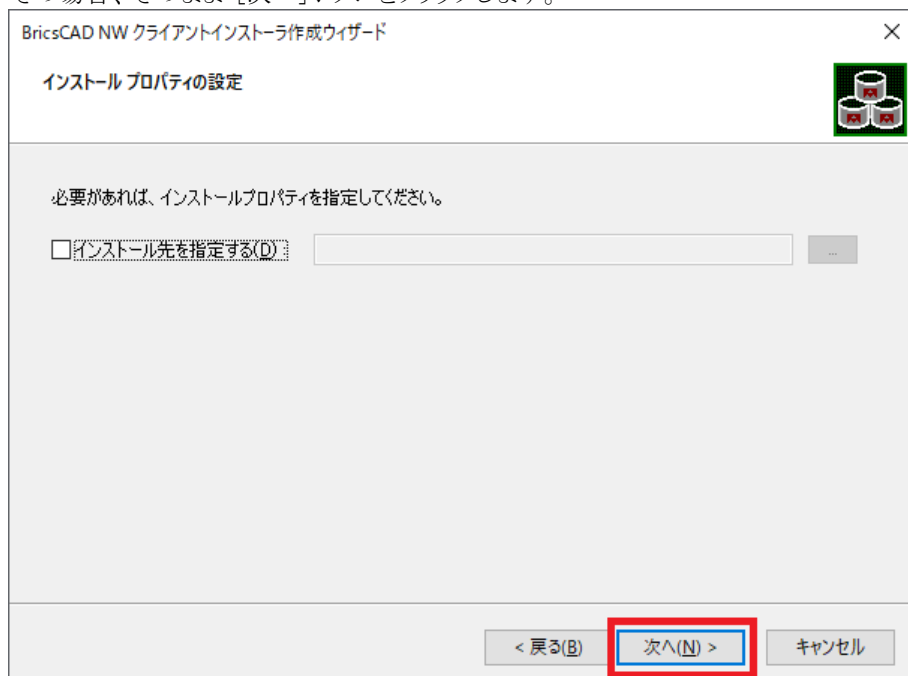
※チェックを付けたグレードごとのクライアントインストーラを作成します。

11)「インストール プロパティの設定」を表示します。

初期値以外にインストールする必要がある場合、「インストール先を指定する」のチェックボックスをオンにし、[...] ボタンでインストール先を指示してください。

Cドライブにインストールする場合、初期値を推奨します。

その場合、そのまま [次へ] ボタンをクリックします。



12) 「BricsCAD 初期設定」を表示します。

過去のバージョンでカスタマイズしたファイルを含んだ横目ごとにフォルダを指定してください。
指定フォルダには、必要なファイルのみを入れておいてください。

[次へ]ボタンをクリックし、進みます。

BricsCAD NW クライアントインストーラ作成ウィザード

BricsCAD 初期設定

インストール時にコピーするファイルがあれば、そのファイルが含まれるフォルダを指定してください。

線種(L): ...

フォント(F): ...

メニュー(M): ...

Lisp(I): ...

印刷設定(P): ...

印刷スタイル(S): ...

テンプレート(T): ...

< 戻る(B) **次へ(N) >** キャンセル

13) 「プロファイルの初期設定」を表示します。

過去のバージョンのプロファイルに対して、「Bricscad プロファイル初期設定書き出しツール」を実行した場合、出力先に設定ツール(Binit.exe)、設定ファイル(*.brg)を出力します。

移行が必要な場合、それぞれを指定してください。

[次へ]ボタンをクリックし、進みます。

BricsCAD NW クライアントインストーラ作成ウィザード

プロファイルの初期設定

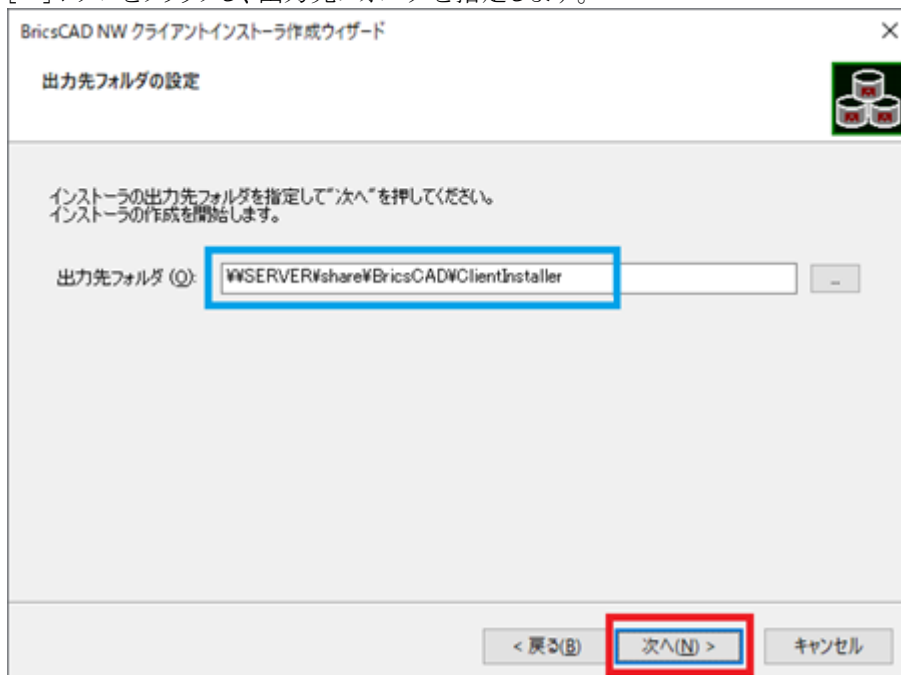
プロファイルの初期設定を行う場合は、設定ツールと brg ファイルのパスを指定してください。

設定ツール (T): ...

brg ファイル(B): ...

< 戻る(B) **次へ(N) >** キャンセル

- 14) 「出力先フォルダの設定」を表示します。
[...]ボタンをクリックし、出力先フォルダを指定します。

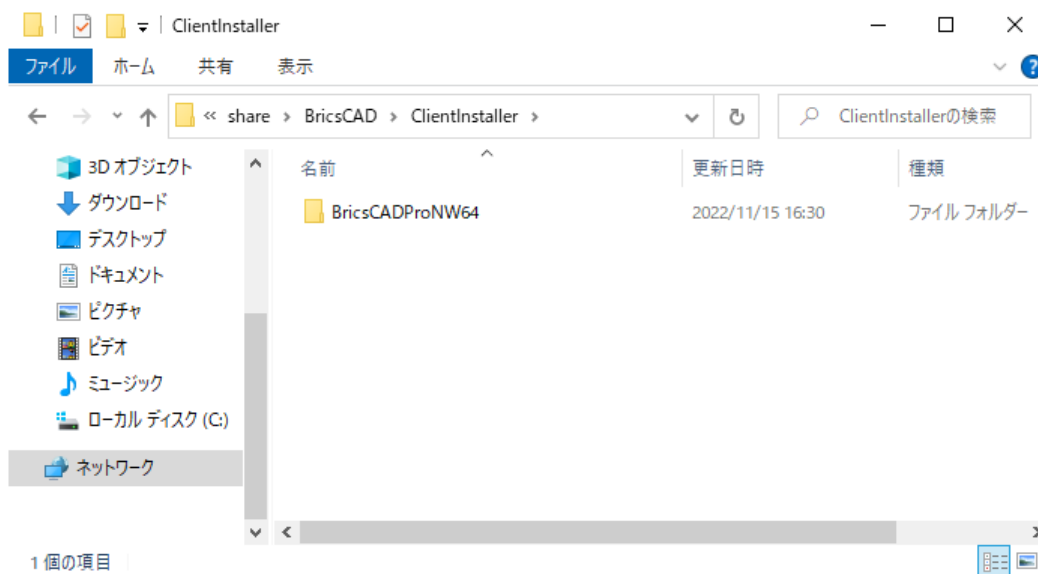


- 15) [次へ]ボタンのクリックでチェックしたグレードのクライアントインストーラを出力先に作成します。

- 16) クライアントインストーラの作成後、完了画面を表示します。
[完了]ボタンで「BricsCAD NW クライアントインストーラ作成ウィザード」を終了します。



17) 出力先フォルダに、グレード単位のクライアントインストーラの作成を確認してください。

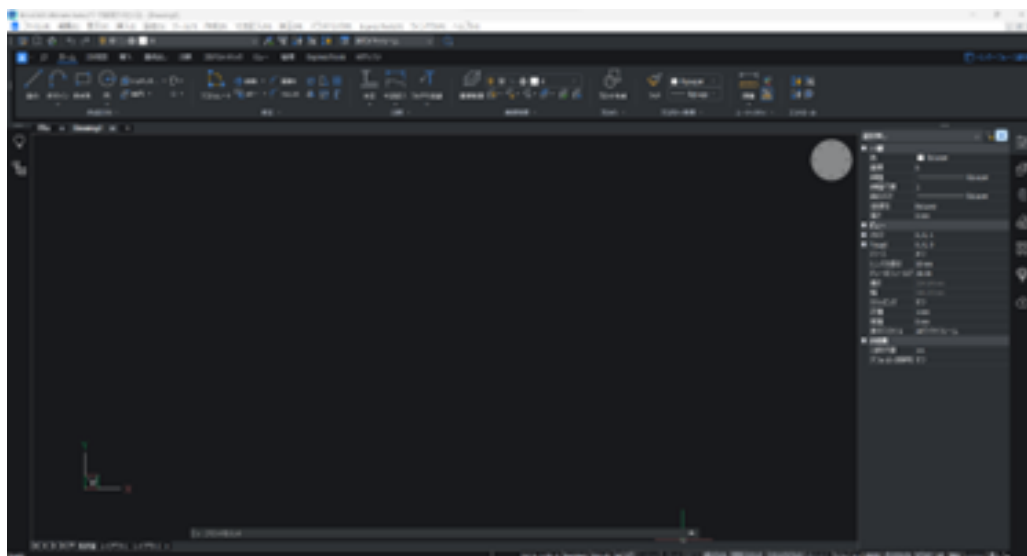


2. プロファイル初期設定ファイル

BricsCAD の初期値を設定するファイルの書き出し作業について説明します。

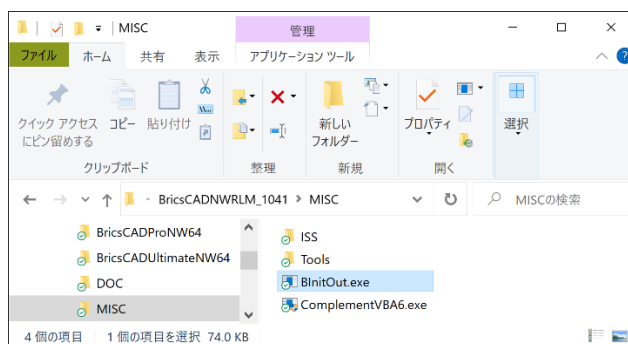
1. プロファイル初期設定ファイルについて

プロファイル初期設定ファイルとは、BricsCAD を始めて起動するときに自動作成されるプロファイル (default) に予め自社専用の設定を組み込むものです。



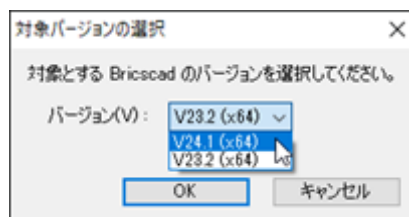
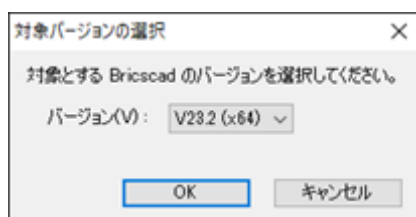
2. プロファイル初期設定ファイルの作成

- 1) BricsCADNWRLM_1041\MISC¥以下の BInitOut.exe を実行します。



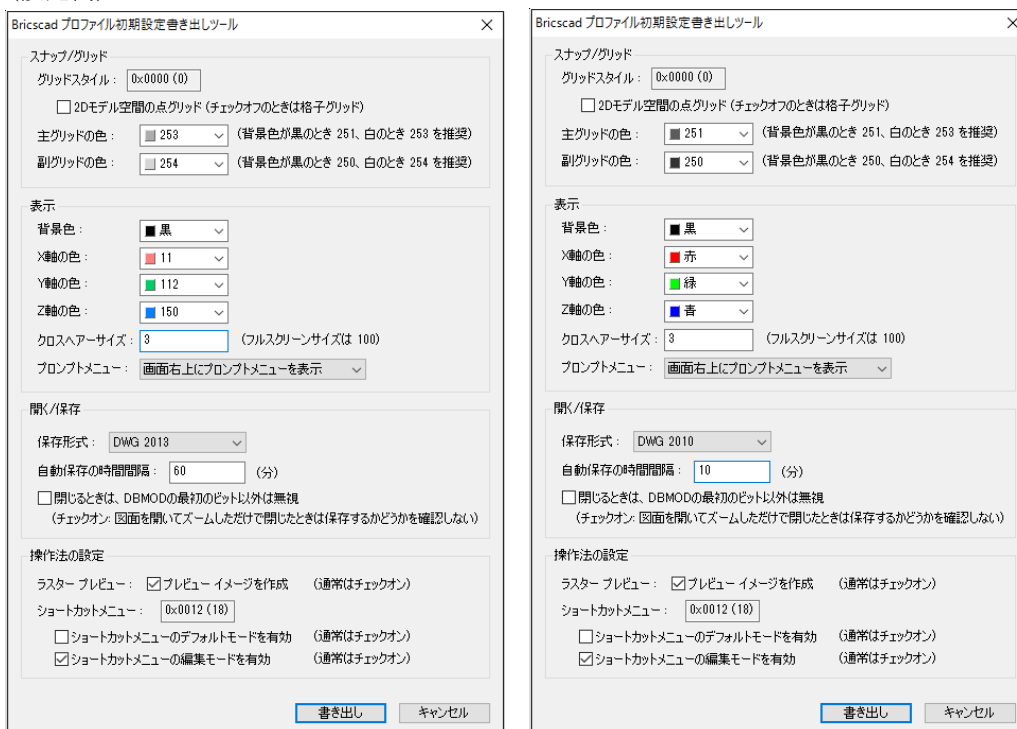
※BricsCAD を複数インストールしている環境で実行した場合、BricsCAD の選択肢が表示されます。

その場合は環境を登録するバージョンを選択して、[OK]をクリックします。

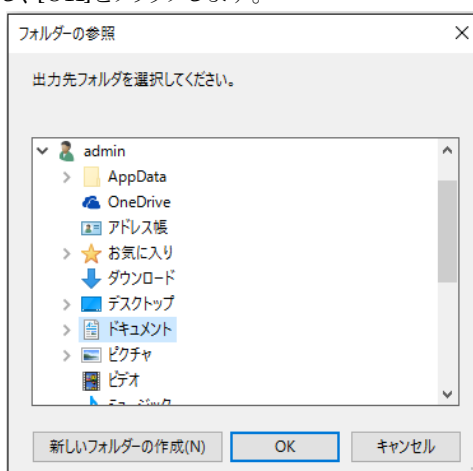


- 2) ダイアログ内の設定項目を設定します。[書き出し]をクリックします。

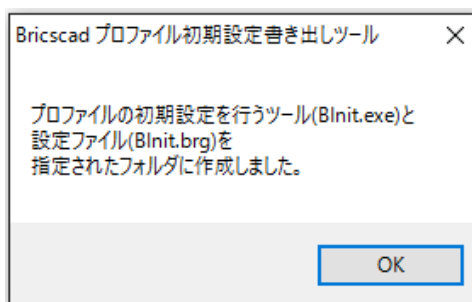
(設定例)



- 3) 保存するフォルダを指定し、[OK]をクリックします。



- 4) メッセージが表示されます。[OK]をクリックします。
 5) Bricscad プロファイル初期設定書き出しツールダイアログの[キャンセル]をクリックします。
 ダイアログが終了します。

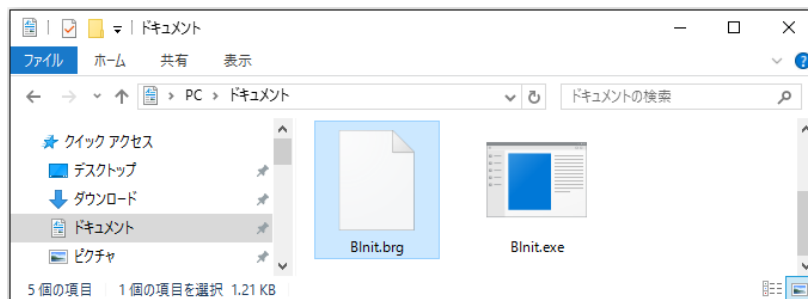


3. 設定ファイル

指定したフォルダに下記の 2 つのファイルが書き出されます。

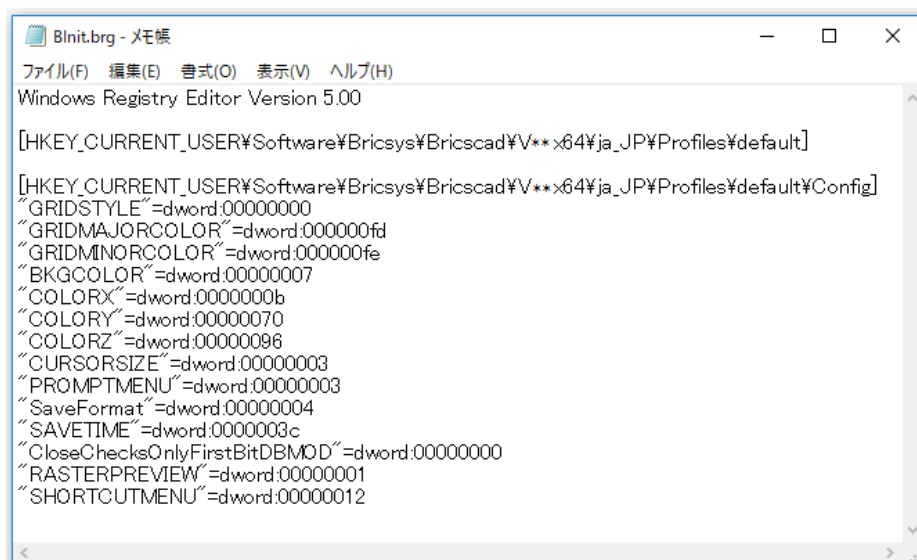
Blnit.brg (設定内容のファイル)

Blnit.exe (書き出した設定内容を登録するためのプログラム)

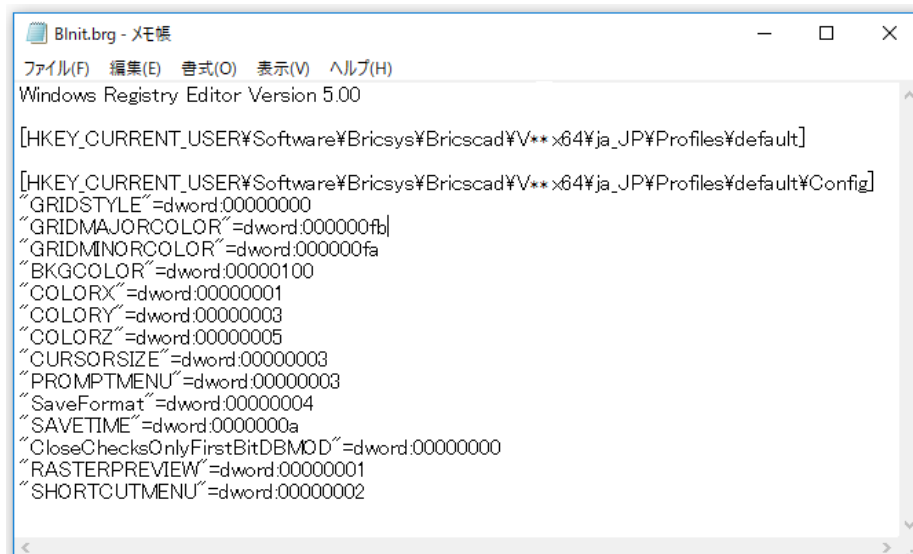


設定ファイルにはレジストリに登録する値が書き出されます。

(BricsCAD V** 64bitインストール環境でデフォルトのまま書き出した場合の設定ファイル)



(前頁の(設定例)のように設定項目を変更して書き出した場合の設定ファイル)



書き出したファイルは、クライアントインストーラの作成の「プロファイルの初期設定」の画面で使⽤します。
クライアントインストーラを作成するクライアントから参照できる場所に保存しておいてください。

IV. クライアントインストール

クライアントインストーラは、ユーザー様が作成します。

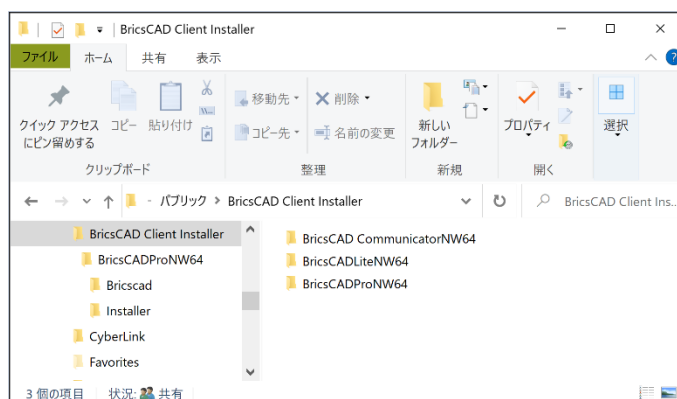
BricsCAD リビジョンアップにより、クライアントインストーラ内の BricsCAD を変更される場合は、必要に応じて再作成してください。

Reprise 対応バージョン: BricsCAD V22～

1. BricsCAD のインストール

クライアントに BricsCAD（ネットワークライセンス用）をインストールします。

1. BricsCAD クライアントインストーラ フォルダ構成について



クライアントインストーラを使ってインストールします。

クライアントインストーラにはグレードごとの BricsCAD 用と Communicator 用があります。

■インストールフォルダの構築例

ご購入製品例: BricsCAD Lite と Pro と Communicator

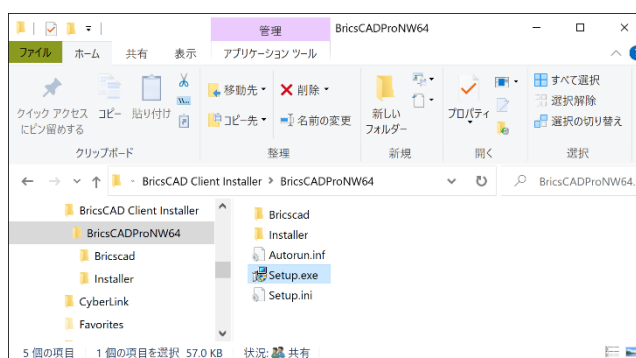
(フォルダ説明)

BricsCADLiteNW64: BricsCAD Lite のインストーラ

BricsCADProNW64: BricsCAD Pro のインストーラ

BricsCAD CommunicatorNW64: BricsCAD Communicator のインストーラ

各フォルダ以下にある Setup.exe を実行するとインストールが始まります。



(ご注意)

インストール対象のクライアント PC に BricsCAD がインストールされている場合、初期設定ではすべての BricsCAD と BricsCAD NW をアンインストールして、現バージョンのインストールが実行されます。

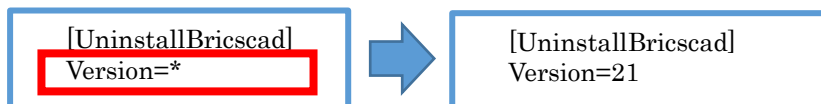
過去バージョンのアンインストールの有無は setup.ini のセクションを編集することで設定変更が可能です。

Setup.ini は各クライアントインストーラの Setup.exe と同じ場所に作成されます。

複数のクライアントインストーラを作成された場合は、それぞれの BricsCAD クライアントインストーラ、Communicator インストーラごとに設定の変更が必要です。

BricsCAD V** 64bit をインストール対象にしているクライアントインストーラの setup.ini の例

初期設定「version=*」: インストールされたすべての BricsCAD をアンインストールします。過去バージョンをアンインストールしたくない場合、記述を以下のように編集します。



インストール対象の BricsCAD バージョンは必ず記述する必要があります。(記載例の意味: V21 をアンインストールし、再度インストールします。他バージョンがあれば何もせず残します)

BricsCAD-Communicator V** 64bit をインストール対象にしているクライアントインストーラの setup.ini の例

```

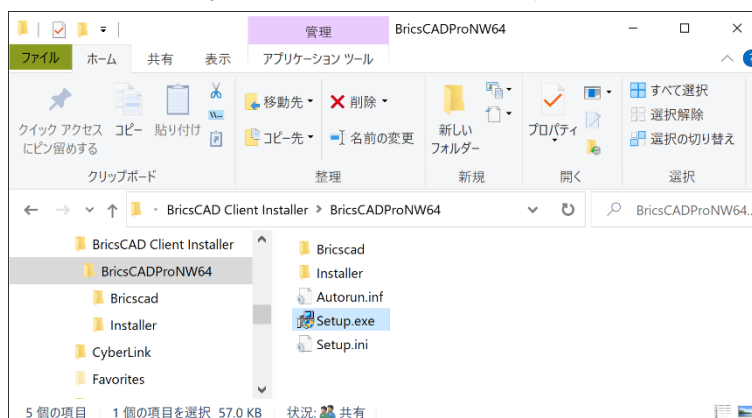
*Setup.ini - メモ帳
ファイル(F) 編集(E) 書式(O) 表示(V) ヘルプ(H)
INSTALLUILEVEL=3
[Bricscad]
InstallerPath=Bricscad¥Installer¥BricsCAD-V**.*.**.ja_JP(x64).msi
Properties=SHOWRELEASENOTES=""
[UninstallBricscad]
Version=*
Infile=Bricscad¥Uninstaller¥iss.ini
[UninstallBricscad NW]
  
```

2. BricsCAD のインストールの実行

BricsCAD Pro ネットワーク版のインストール作業例です。

- 1) 管理者権限(Administrator)でログインします。
使用中のアプリケーションはすべて終了してください。
- 2) インストールするグレードのクライアントインストーラのフォルダを開きます。
- 3) Setup.exe をダブルクリックします。

(例: BricsCAD Pro 64bit 版用のフォルダを開いた例です)

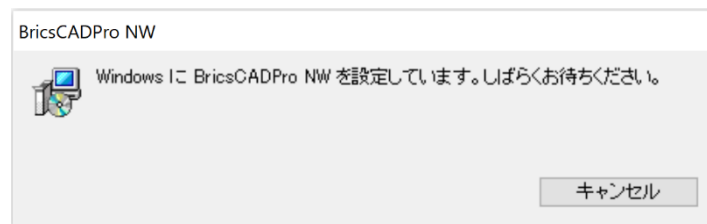
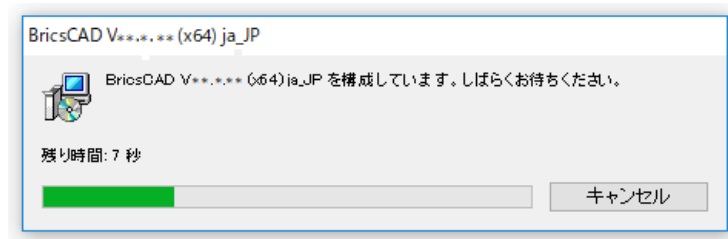


OSによってはユーザーアカウント制御のメッセージが表示されますので、[はい]をクリックします。

(クライアントインストーラにある Setup.ini を初期設定でご使用の場合、インストールされているすべての BricsCAD をアンインストールしてからインストールします。)

4) メッセージが表示されます。

※BricsCAD の旧バージョンがインストールされている場合、先に旧バージョンがアンインストールされます。



メッセージが消えたら、インストールの完了です。

これで、クライアント PC への BricsCAD インストール作業は終了です。

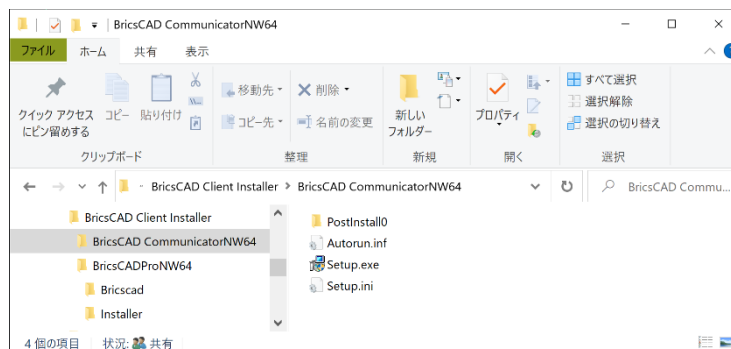
3. Communicator のインストールの実行

続いて、Communicator インストール作業例です。

BricsCAD のインストールが必須です。

- 1) Communicator のクライアントインストーラのフォルダを開きます。
- 2) Setup.exe をダブルクリックします。

(例: BricsCAD Communicator 64bit 版用のフォルダを開いた例です)

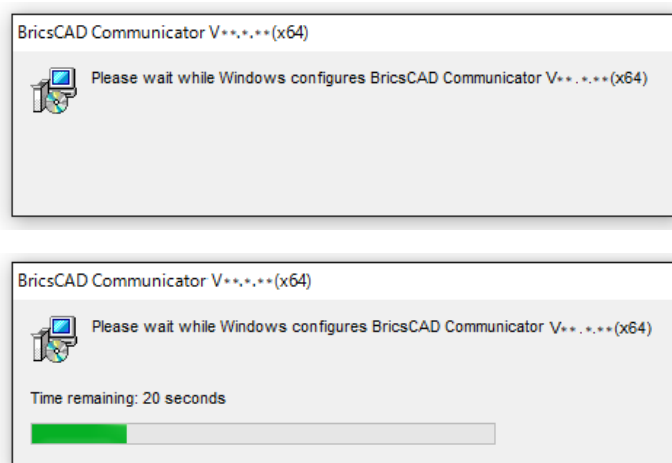


OS によってはユーザーアカウント制御のメッセージが表示されますので、[はい]をクリックします。

(クライアントインストーラにある Setup.ini を初期設定でご使用の場合、インストールされているすべての Communicator をアンインストールしてからインストールします。)

3) メッセージが表示されます。

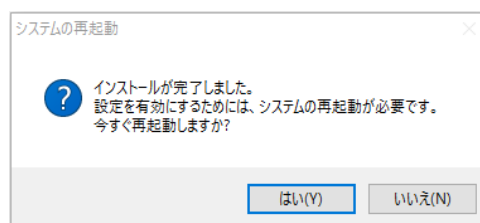
メッセージが消えたら、インストールの完了です。



これで、クライアント PC への Communicator インストール作業は終了です。

メッセージが消えたら、インストールの完了です。

環境によっては右のメッセージが表示されます。その場合は再起動を行ってください。



V. オプション

ネットワーク(FelxNet)用のオプションである「ライセンスの借用」と「ライセンスモニタ機能」について説明します。

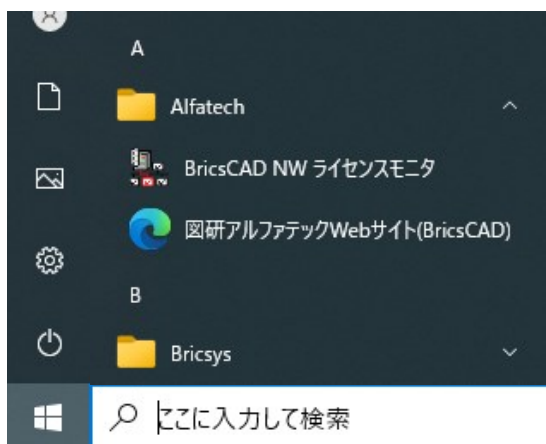
1. ライセンスモニタ(BricsCAD)

クライアントから登録グレードのライセンス情報(アプリケーション名)、バージョン、ライセンス数、使用数を確認することができます。

1. ライセンス情報の確認

1) [ライセンスモニタ] を選択します。

Windows10 の例:[スタート]-[A]-[Alfatech]-[BricsCAD NW ライセンスモニタ]



ライセンスモニタが表示します

グレードごとに表示します。

ライセンスモニタ			
ファイル(E) 表示(V) ヘルプ(H)			
アプリケーション名	バージョン	ライセンス数	使用数
<input type="checkbox"/> BricsCADPro NW	v2*	1	0
ライセンスサーバ : 5053@Server2022		最終更新時刻 : 2022/11/15 21:45:11	

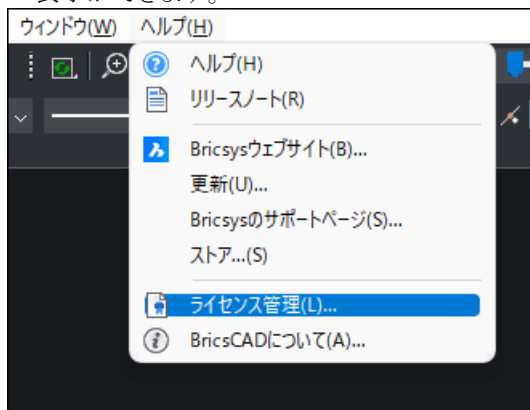
サーバーと通信が正常に行われている場合、ライセンスサーバーの状態が表示されます。

2. ライセンスの借用と返却 (BricsCAD)

ライセンス借用は、ライセンスサーバーからネットワークライセンスを指定期間、借用する機能です。借用期間はライセンスサーバーに繋がっていても使うことができます。

1. ライセンス借用

- 1) BricsCAD を起動し、メニューの [ヘルプ]-[ライセンス管理]をクリックします。
※V23 から「インターフェース設定」で「ツールバー」のレイアウトを選択することでメニューバー表示ができます。



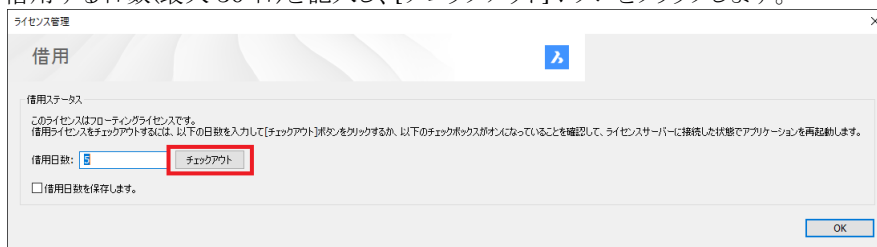
- 2) 「Bricsys ライセンス管理」の[ライセンス管理]をクリックします。



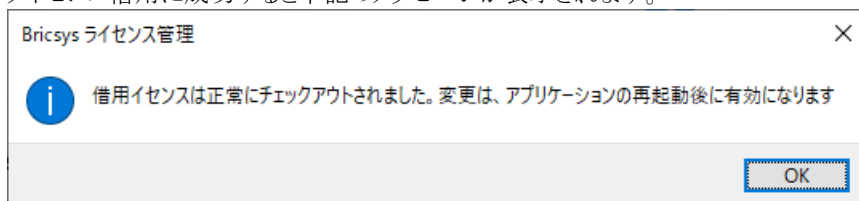
- 3) [借用]ボタンをクリックします。



- 4) 借用する日数(最大 30 日)を記入し、[チェックアウト]ボタンをクリックします。



- 5) ライセンス借用に成功すると下記のメッセージが表示されます。

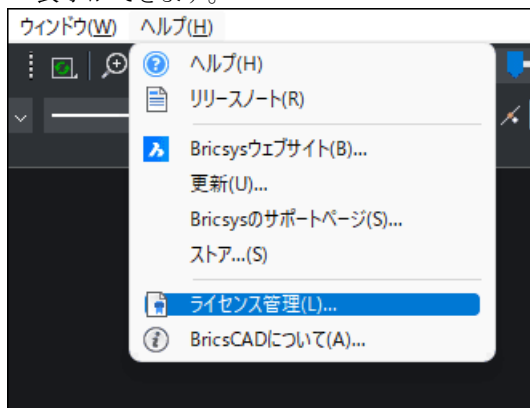


- 6) [OK]ボタンをクリックし、表示中のダイアログを閉じ、起動した BricsCAD も終了します。次回から借用ライセンスで起動します。
- 7) ライセンスサーバーと同一ネットワーク上にある PC でライセンスモニタを起動すると、誰も BricsCAD を起動していなくても使用数に値が表示されることが確認できます。



2. ライセンス返却

- 1) BricsCAD を起動し、メニューの [ヘルプ]-[ライセンス管理]をクリックします。
 ※V23 から「インターフェース設定」で「ツールバー」のレイアウトを選択することでメニューバー表示ができます。



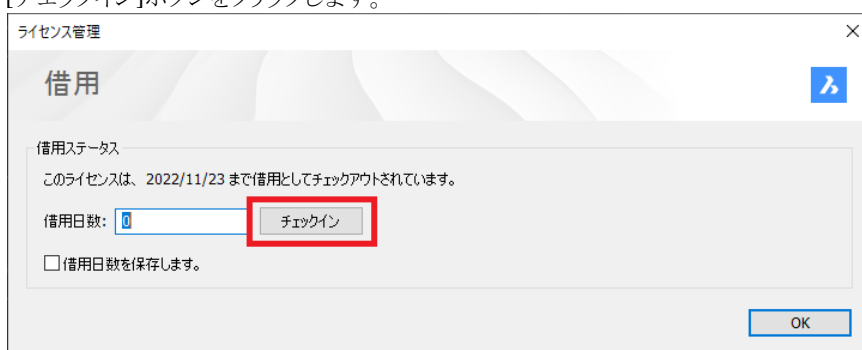
- 2) 「Bricsys ライセンス管理」の[ライセンス管理]をクリックします。



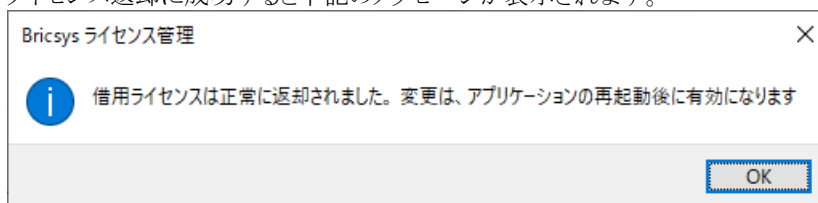
- 3) [借用]ボタンをクリックします。



- 4) [チェックイン]ボタンをクリックします。



- 5) ライセンス返却に成功すると下記のメッセージが表示されます。



- 6) [OK]ボタンをクリックし、表示中のダイアログを閉じ、起動した BricsCAD も終了します。次回より再びサーバーからライセンスを取得して起動します。

VI. 付録

ログ解析ツール、サーバー情報書き換えツールについても説明しています。

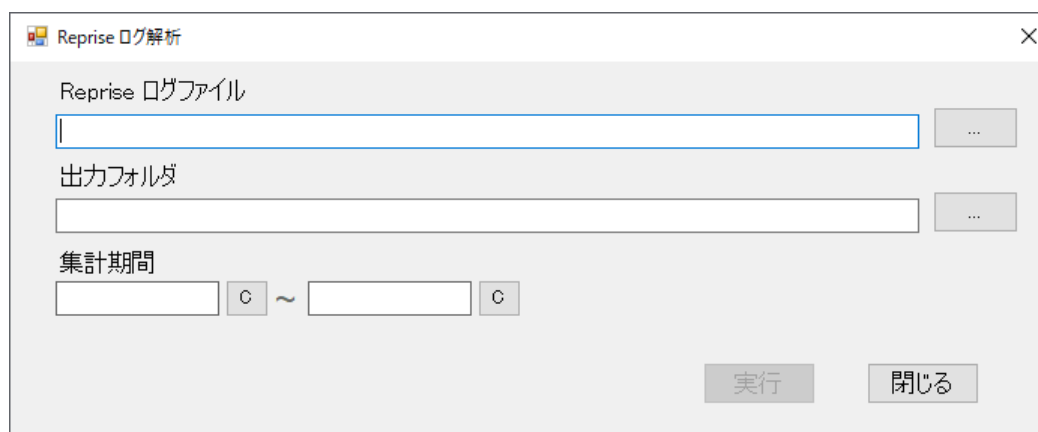
1. ツール

ライセンスサーバー作業でダウンロードした NWRLM_Package.zip 中のクライアントインストーラの作成用インストーラの中の MISC フォルダの中に、各種ツールが入っています。

1. ライセンスログ解析ツール

LogAnalysisTools¥AlfatechLicenseLogAnalyzeRLM.exe

本ツールは BRICSCAD のライセンス使用のログを解析して1日あたりの使用数、平均使用数、ユーザーごとの使用時間、拒否数を CSV ファイルに作成するものです。



(ご注意)

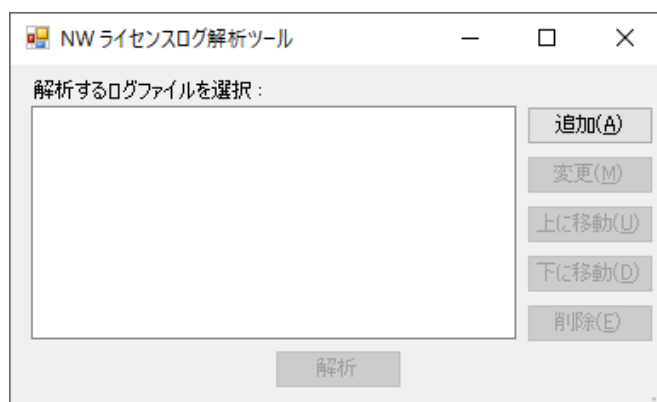
AlfatechLicenseLogAnalyzeRLM.exe だけでは実行はできません。
コピーの際には、LogAnalysisTools フォルダごとをお願いします。

2. ライセンスログ解析ツール 機能拡張版

LogAnalysisTools¥AlfatechLicenseLogAnalyzeRLMEx.exe

本ツールは、デバッグログの解析結果の可視化を目的とし、グラフ表示するものです。

“使用数の推移”、“ユーザー別使用状況”、“ユーザー別総使用時間” をグラフ表示することができます。



[追加]ボタンでログファイルを登録し、選択後に [解析]ボタンで解析を行います。

そのあと、表示条件を指定し、グラフなどの可視化表示します。

(ご注意)

AlfatechLicenseLogAnalyzeRLMEx.exe だけでは実行はできません。
コピーの際には、LogAnalysisTools フォルダごとをお願いします。

3. ライセンスサーバー設定/グレード書き換えツール

BricsCAD のライセンスサーバーを変更した場合、クライアントのライセンスを取得するサーバーの情報を変更する必要があります。

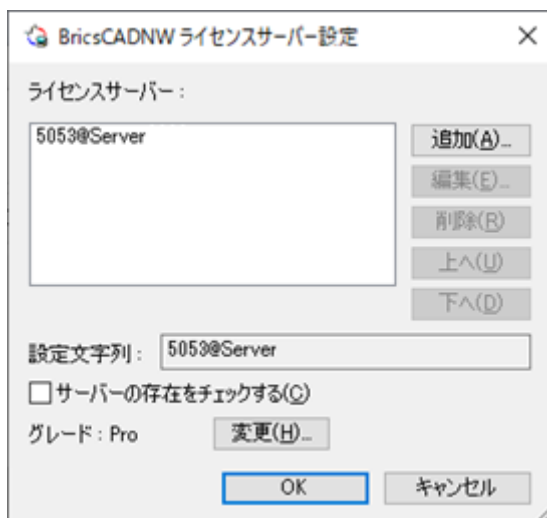
この時に本ツールを使用します。

また、現在より下位のグレードへの変更に限定ですが、本ツールにて変更することができます。

下記の exe ファイルをクライアント PC に配布して利用してください。

BCADNWLICENSESETTING¥BCADNWLICENSESETTINGRLM.exe

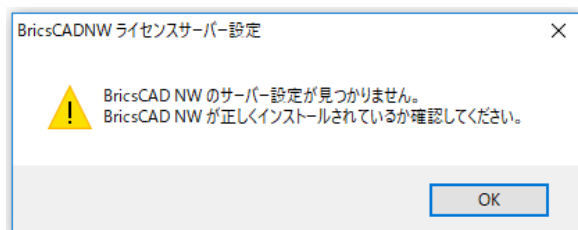
- 1) BCADNWLICENSESETTINGRLM.exe を「管理者として実行」します。
- 2) BricsCADNW ライセンスサーバー設定ダイアログが表示します。



(ご注意)

BricsCAD ネットワーク版を使用していない PC では本ツールは使用できません。

本ツールを実行された場合、下記のメッセージが表示されますので、[OK]をクリックして終了してください。



(ダイアログの説明)

[追加]:サーバー名を追加します。分散サーバーなど、複数のサーバーを指定する場合に使用します。

[編集]:既存のサーバー設定を変更します。

[削除]:既存のサーバー設定を削除します。

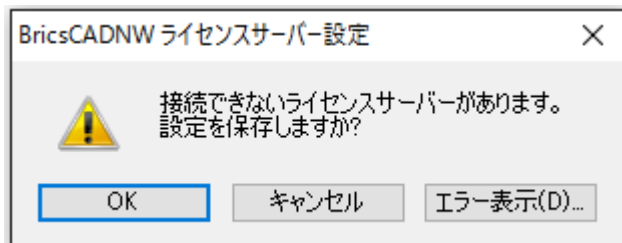
[上へ][下へ]:複数サーバーを設定されている場合に並び順を変更します。

上からの並び順でサーバーのライセンス取得順が決定します。

設定文字列:サーバーの設定状態が表示されます。

サーバーの存在をチェックする:[OK]をクリックしたときに設定時にサーバーに接続されているかを確認します。

サーバーに接続されていない(ライセンスサーバーに接続できない)場合下記のメッセージが表示されます。



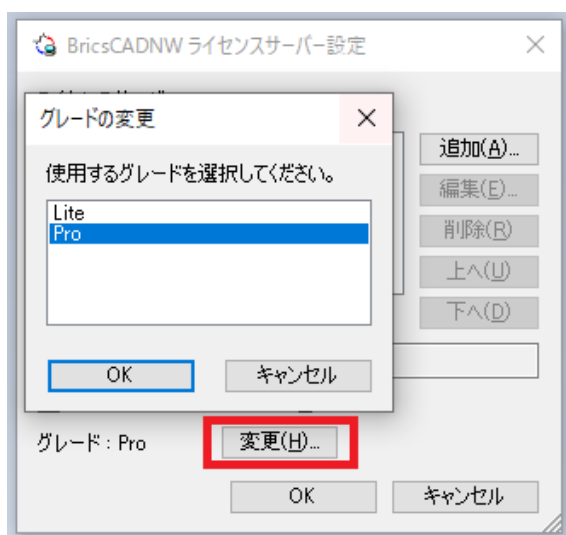
[OK]:サーバー設定を保存して終了します。

[キャンセル]:メッセージをキャンセルします。再度サーバーの編集を行ってください。

[エラー表示]:エラー内容を表示します。

エラー改善されない場合、エラー詳細をコピーしてサポート(support@bj-soft.jp)までご連絡ください。

グレード/[変更]:クライアント PC で使用する BricsCAD のグレードの変更を行います。



(ご注意)

インストール時に使用したクライアントインストーラのグレードが最上位で、それより下のグレードのみを表示し、変更することができます。

上位に変更したい場合は、上位グレードのクライアントインストーラを使ってインストールしてください。

「グレードの変更」に表示されるグレードの一覧は、ライセンスの有無に関係なく表示しています。

変更の際は、変更するグレードのライセンスの有無を必ず確認してください。

ライセンスの有無は、ライセンスモニターで確認することができます。

2. Reprise オプション構文

Reprise オプションには、様々なオプション構文があります。よく使用されるものを抜粋してご紹介します。

1. オプションファイルキーワード

現在、本製品で使用できるキーワードは以下のとおりです。

オプション・キーワード	説明
INCLUDE	指定した対象にのみ、使用を許可する。
EXCLUDE	指定した対象に対し、使用を禁止する。
EXCLUDEALL_ROAM	指定した対象に対し、貸し出しを禁止する。
MAX	指定した対象に対し、ライセンス数の上限を設定する。
RESERVE	指定した対象に対し、ライセンスを予約する。
GROUP	ユーザーグループを定義する。
HOST_GROUP	PC グループを定義する。
TIMEOUT	クライアントが取得したまま、未使用状態が続いたときにライセンスを回収する時間を定義する。(秒単位)
ROAM_MAX_COUNT	最大借用可能ライセンス数を定義する
ROAM_MAX_DAYS	ライセンス借用の最大日数を指定する。

2. 製品ライセンスコード(フィーチャー名)

オプションファイルで製品ライセンスごとに指定する場合、製品のライセンスコード毎に指定します。

製品名	ライセンスコード
BricsCAD※	BRICSCAD
BricsCAD Communicator	COMMUNICATOR

※Reprise では BricsCAD は全てのグレードで同一のライセンスコードとなります。したがって、グレードを指定してオプションを設定する場合は、グレード識別 ID 設定ツールで各ライセンスファイルに追記された ID を指定する必要があります。(参考:[p10. 「2. グレード識別 ID の設定」](#))

(ID 指定なしの記述例)※全ての BricsCAD ライセンスに対してオプションを適用

```
INCLUDE BRICSCAD HOST PC1
```

(ID 指定ありの記述例)※id=101 が指定されたライセンスに対してオプションを適用

```
INCLUDE BRICSCAD HOST PC1 id=101
```

3. 識別

識別する名前の種類をキーワードで定義します。以下のような種類があります。

識別	説明
USER	プログラムを実行しているユーザー名 (Windows のログイン名)
HOST	アプリケーションを実行しているクライアントのマシン名
GROUP	オプション行の中で定義したユーザーグループ名
HOST_GROUP	オプション行の中で定義したマシングループ名

※ "GROUP", "HOST_GROUP" は、対象が多いときに、グループ指定するために使用します。

4. ライセンスの返却(タイムアウト)

クライアント PC で BricsCAD を起動し、ライセンスを取得したまま使用していない場合でも、BricsCAD を終了しない限りライセンスはそのクライアント PC に保持されます。

タイムアウトオプションを設定すると、設定時間実行されない場合にはライセンスはサーバーに自動返却されません。

構文: TIMEOUT

書式: 構文 値 ライセンスコード

※値は秒単位で指定します。(3600 秒=1 時間)

ライセンスのタイムアウトを設定 例

TIMEOUT 3600 BRICSCAD

※最小値は 3600 です。

5. ライセンス使用の許可

ライセンス使用を許可するユーザーを設定します。

構文: INCLUDE

書式: 構文 ライセンスコード HOST クライアントホスト名

指定した PC(PC1 と PC2)にのみ、BricsCAD のライセンス使用を許可する例

INCLUDE BRICSCAD HOST PC1

INCLUDE BRICSCAD HOST PC2

6. グループの定義記述例

Windows のログイン名、PC 名にてグループの定義が可能です。

対象の PC またはユーザー数が多い場合、グループを定義することが可能です。

構文: HOST_GROUP グループ名 クライアントホスト名(、カンマ区切りで複数指定可能)

グループ A とグループ B を作成し、それぞれに INCLUDE(ライセンス使用許可)構文を設定した例

HOST_GROUP GROUP_A PC1 PC2 PC3 PC4

HOST_GROUP GROUP_B PC5 PC6 PC7 PC8 PC9 PC10

GROUP_A のみに BricsCAD(Pro:id=101) の使用を許可

INCLUDE BRICSCAD HOST_GROUP GROUP_A id=101

GROUP_B のみに BricsCAD(Lite:id=1) の使用を許可

INCLUDE BRICSCAD HOST_GROUP GROUP_B id=1

7. 最大使用ライセンス数の指定

最大使用ライセンス使用を指定することができます。

構文: MAX

書式: 構文 ライセンスコード クライアントホスト名またはグループ名(、カンマ区切りで複数指定可能)

グループを定義し、グループ名で指定した例

(グループ B には 6 台の PC を登録していますが、6 台中 5 台までの同時使用を制限した例)

```
HOST_GROUP GROUP_A PC1 PC2 PC3 PC4
```

```
HOST_GROUP GROUP_B PC5 PC6 PC7 PC8 PC9 PC10
```

```
INCLUDE BRICSCAD HOST_GROUP GROUP_A
```

```
INCLUDE BRICSCAD HOST_GROUP GROUP_B
```

```
MAX 5 BRICSCAD HOST_GROUP GROUP_B
```

※ライセンス数が 9 の場合、A グループでは常にライセンスを確保することができます。

※A グループに対して「RESERVE」を使用してライセンス数を予約(確保)設定しても同じ効果となります。

最後の行を以下のように変更します。

```
RESERVE 4 BRICSCAD HOST_GROUP GROUP_A
```

常に 4 ライセンスは A グループにて予約(確保)されます。

8. ライセンス借用の制限と禁止

借用可能ライセンス数の最大値を設定します。

構文: ROAM_MAX_COUNT

書式: 構文 値 ライセンスコード

製品(BricsCAD)ライセンス数 10 に対して 5 ライセンスの借用を制限する例

```
ROAM_MAX_COUNT 5 BRICSCAD
```

借用可能な日数の最大値を設定します。

構文: ROAM_MAX_DAYS

書式: 構文 値 ライセンスコード

最大 1 週間=7 日間に借用期間を制限する例

```
ROAM_MAX_DAYS 7 BRICSCAD
```

ライセンスの借用を禁止するユーザーを設定します。

構文: EXCLUDEALL_ROAM


書式: 構文 ライセンスコード HOST クライアントホスト名

指定した PC(PC3,PC4)のライセンス借用を禁止する例

```
EXCLUDEALL_ROAM BRICSCAD HOST PC3
```

```
EXCLUDEALL_ROAM BRICSCAD HOST PC4
```

※これらのオプションでライセンス借用に失敗した場合は、エラーコード-6 が表示される。

	<p>Failed to checkout the roaming license. The error message returned by the checkout procedure was: 要求されたバージョンのライセンスはありません。(エラーコード -6)</p>
---	---

3. よくあるお問い合わせ

Reprise に関するよくある質問、トラブル時のご対応につきましては、下記の図研アルファテック社サイトをご参照ください。

■よくあるお問い合わせ-ネットワークライセンス(Reprise)

<https://www.bj-soft.jp/faq/reprise>

Reprise ネットワークライセンス (BricsCAD V24 対応) ユーザーガイド
Alfatech BricsCAD NW 2024

2023 年 08 月 第 2 版発行
2023 年 10 月 第 3 版発行

発行者
図研アルファテック株式会社

<https://www.alfatech.jp/>
